



SIC Annual Report 2020

(令和 2 年度事業報告)

令和 3 年 9 月 3 0 日



株式会社さがみはら産業創造センター
Sagamihara Incubation Center Ltd.

INDEX

1 インキュベーション施設と入居企業

ーラボ・オフィスー

1 SIC-1	p 1. 2
2 SIC-2 Creation Lab. / R&D Lab.	p 3. 4. 5. 6
3 SIC-3	p 7. 8
4 EN-Garege	p 9
5 SIC 全体	p 1 0. 1 1

2 SIC 実施事業

ー経営サポートー

1 企業支援	p 1 2
2 セミナー	p 1 3

ー連携・研究開発ー

3 さがみはら表面技術研究所	p 1 4
4 首都圏南西地域連携サポート事業	p 1 5. 1 6
5 産業用ロボット導入支援事業	p 1 7. 1 8. 1 9

ー人材育成ー

6 SIC 経営塾	p 2 0
7 SIC 職場リーダー養成塾	p 2 1
8 『子どもアントレ』『アントレ・チャレンジ』	p 2 2. 2 3
9 サガツクナビ (地元企業と学生との出会いをつなぐ)	p 2 4

ー販路開拓ー

1 0 海外販路開拓支援事業 (台湾ビジネスサポート事業)	p 2 5
----------------------------------	-------

3 SIC 会社概要

1 さがみはら産業創造センターの歩み	p 2 6
2 主な事業と開始年度（カテゴリー別）	p 2 7
3 財務状況	p 2 8
4 競争的資金の獲得	p 2 9
5 スタッフ数の変遷	p 3 0
6 支援ネットワーク	p 3 0
7 視察・研修	p 3 1
8 新聞掲載	p 3 1
9 広報紙「かわらばん」の発行	p 3 2
1 0 株主と役員	p 3 3

1-1-1

S I C - 1 Startup Lab. (インキュベーションセンター)

入居対象

<新規創業者>

- ・創業準備中または創業間もない企業および個人
- ・研究開発により、新技術や新製品の創出を図り、その事業化を目指す創業間もない企業および個人

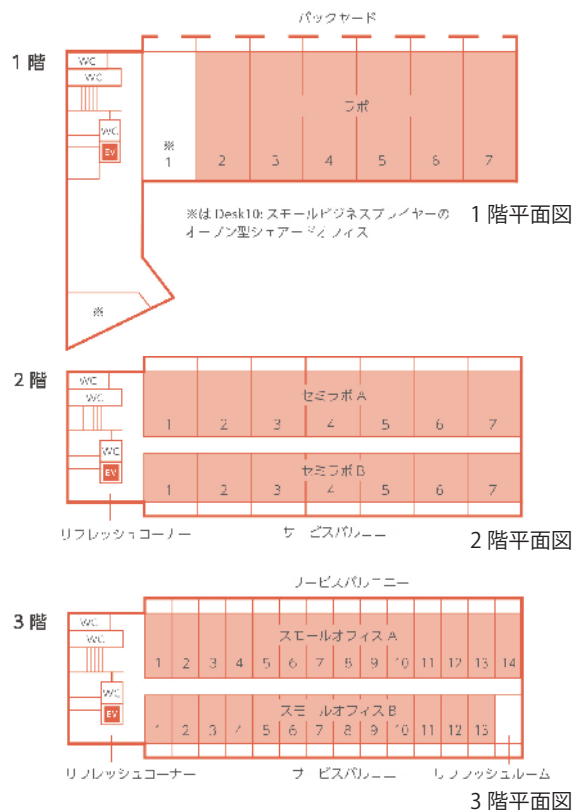
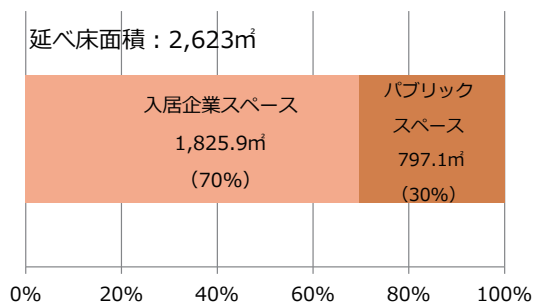
<企業>

- ・新分野進出により経営基盤の強化を目指す中小企業
- ・研究開発により新技術や新製品の創出を図り、その事業化を目指す中小企業

入居期間

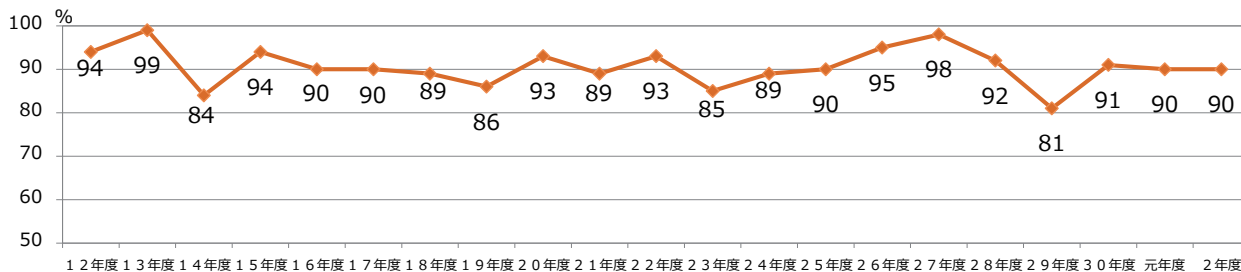
3年間(2年間の再契約が2回可)

施設概要



	ラボ	セミラボ A	セミラボ B	スモールオフィス A	スモールオフィス B
設置階	1 階	2 階		3 階	
部屋数	6 室	7 室	7 室	14 室	13 室
床面積	94.5㎡	47.3㎡	31.5㎡	23.6㎡	17.3㎡

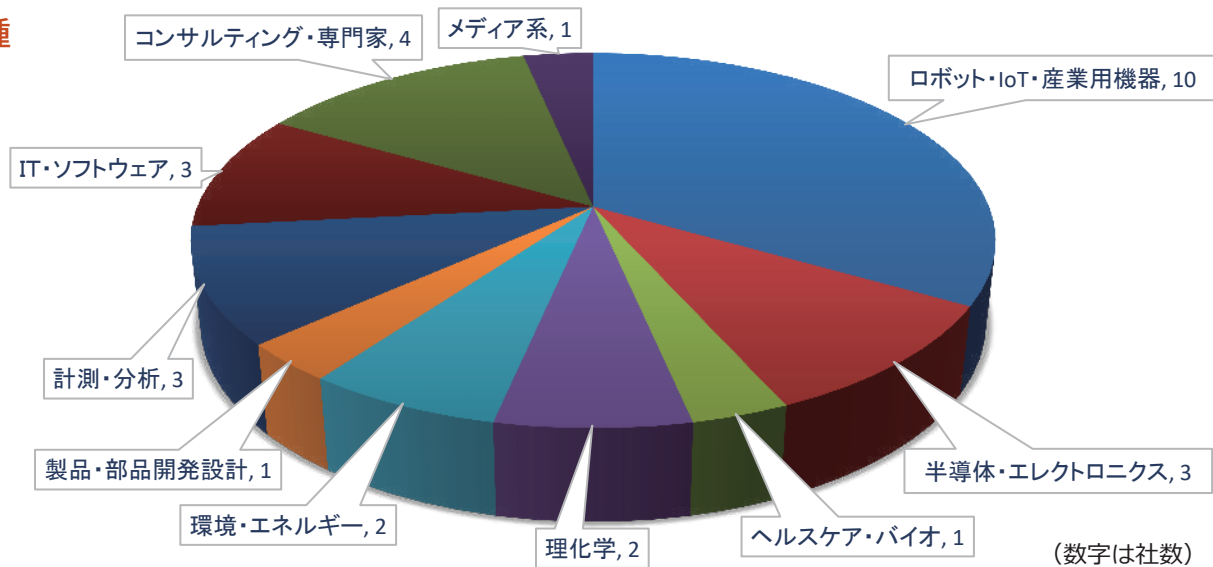
入居率 (賃料ベース)



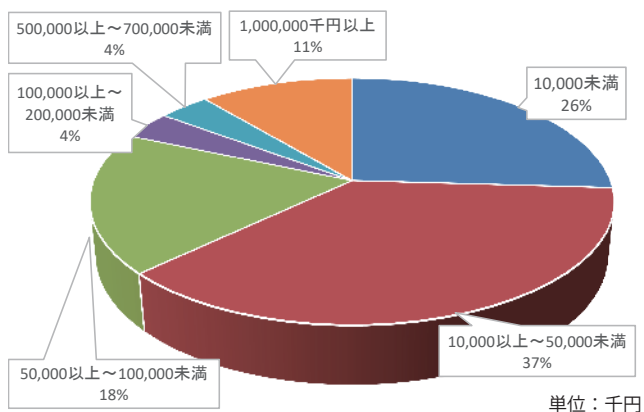
1-1-2

S I C - 1 Startup Lab. 入居企業データ (令和3年3月末)

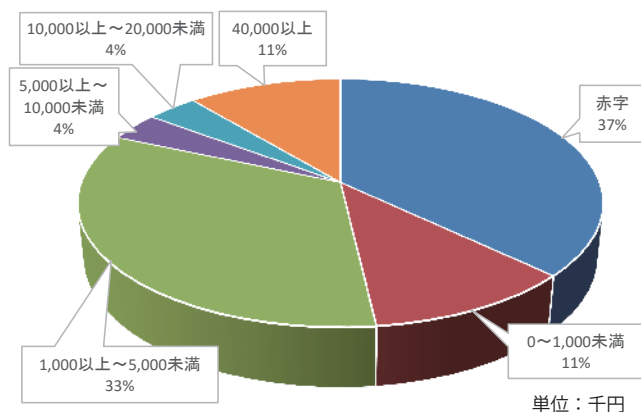
業種



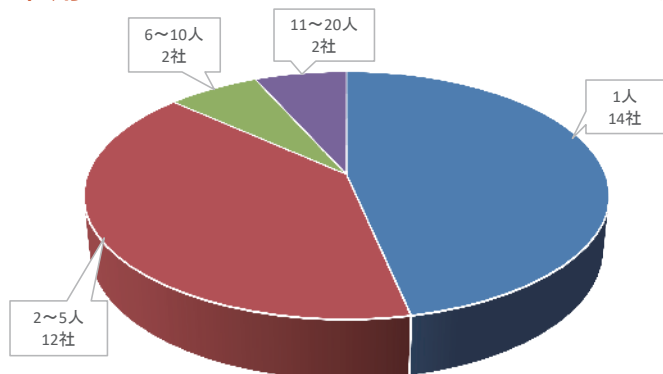
売上高



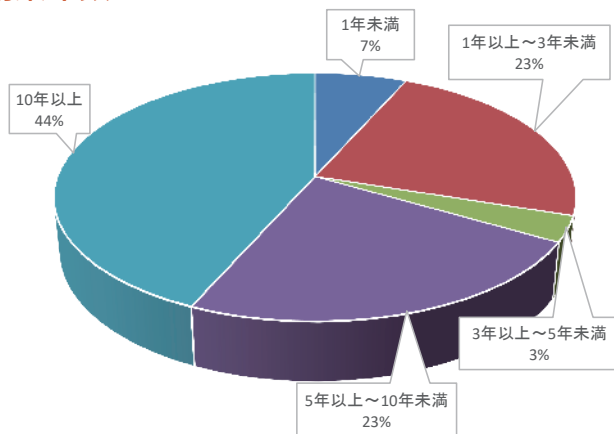
最終利益 (税引き後利益)



雇用



創業年数



売上高合計 23,159,312 千円

雇用者合計 30 社 93 人

1-2-1

S I C - 2 Creation Lab. (ポストインキュベーションセンター)

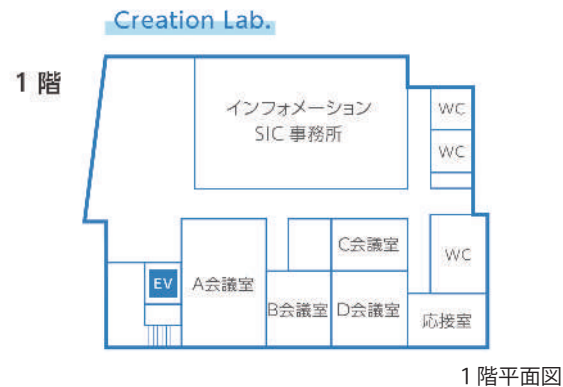
入居対象

<企業>

- ・創業期を経てさらなる規模拡大を目指す企業
- ・新分野進出によりさらなる規模拡大を目指す企業
- ・優れた技術・サービスを保有し、株式公開を目指す企業
- ・企業の研究開発部門

<産学連携企業等>

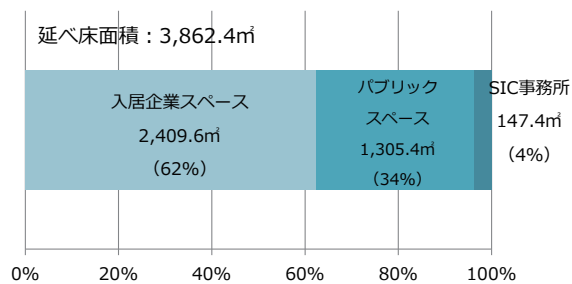
- ・産学連携による事業化を目指し、共同研究開発を行うグループ、企業、研究者等
- ・大学発の技術を活用し、事業化を目指すグループ、企業、研究者等
- ・大学研究室



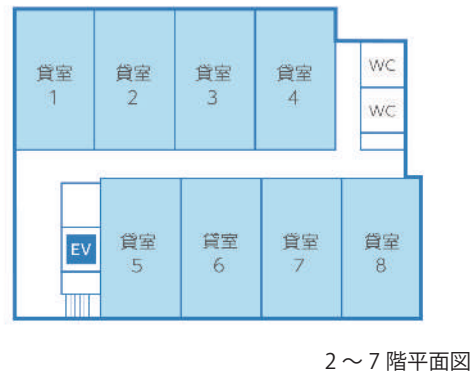
入居期間

3 年間（再契約可能）

施設概要

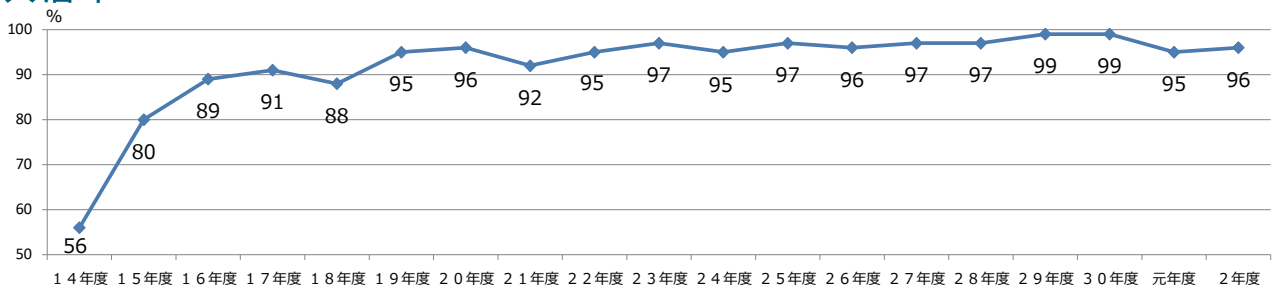


2-7 階



	セミラボ	オフィス
設置階	2～4 階	5～7 階
部屋数	24 室	24 室
床面積	50.2m ²	50.2m ²

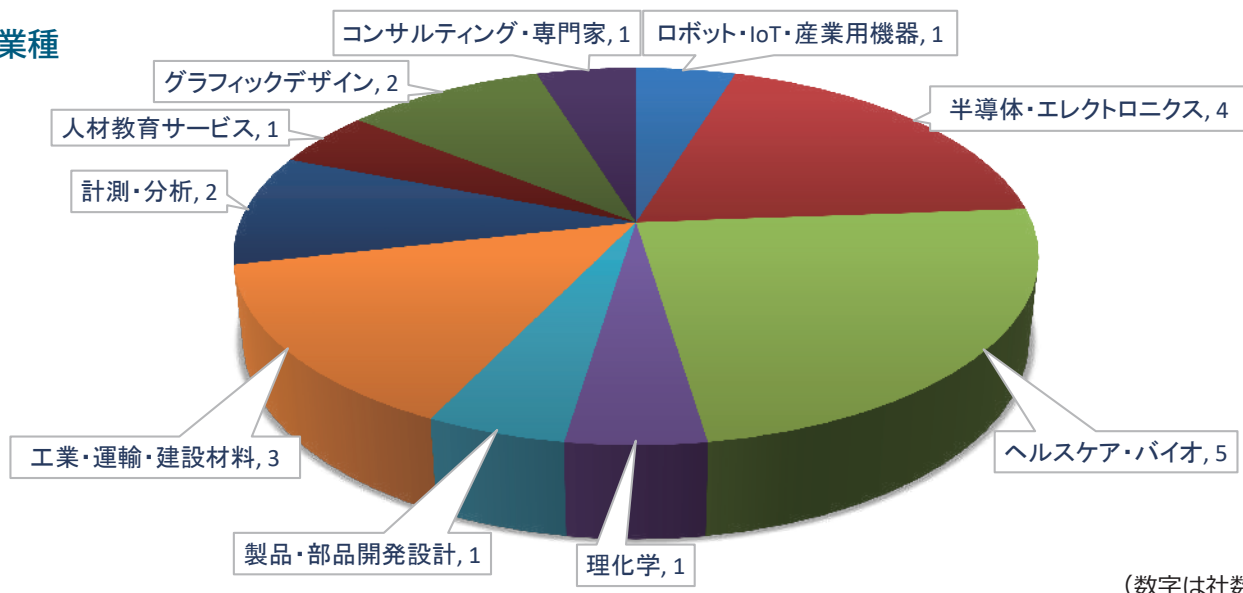
入居率 (賃料ベース)



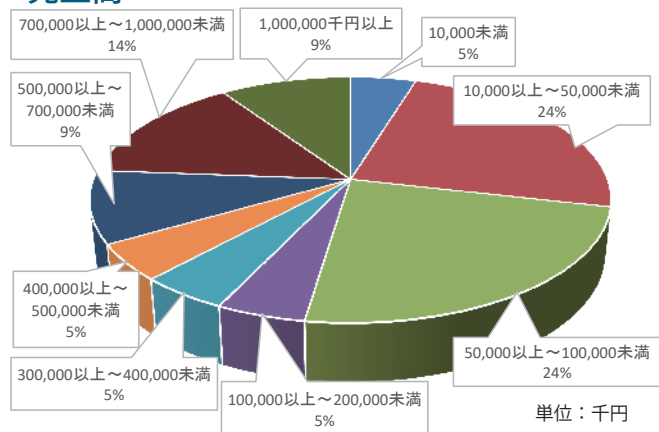
1-2-2

S I C - 2 Creation Lab. 入居企業データ (令和3年3月末)

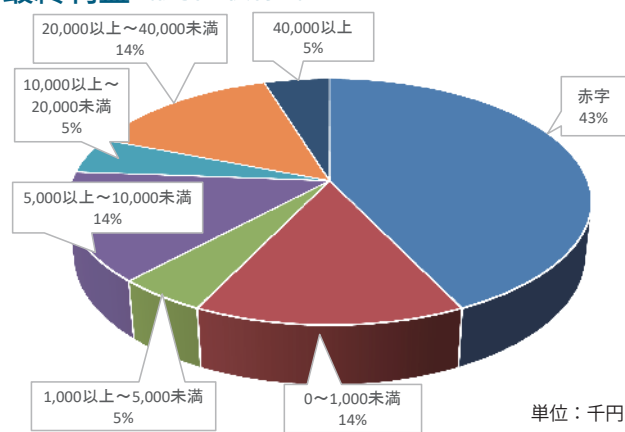
業種



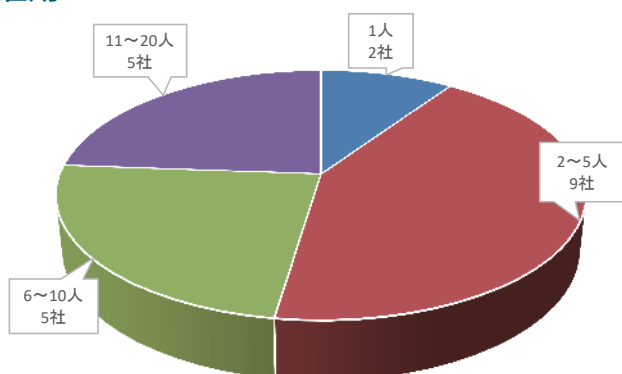
売上高



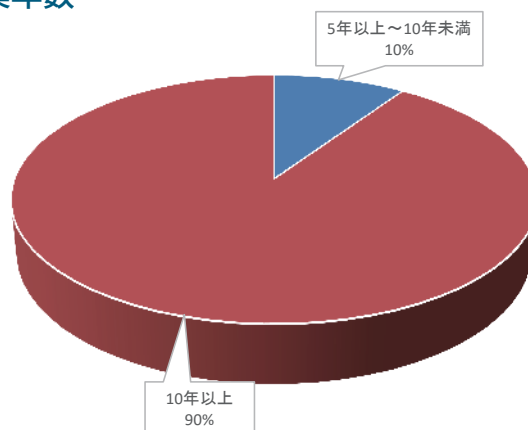
最終利益 (税引き後利益)



雇用



創業年数



売上高合計	13,017,228 千円
雇用者合計	21 社 149 人

1-2-3

S I C - 2 R&D Lab. (ポストインキュベーションセンター)

入居対象

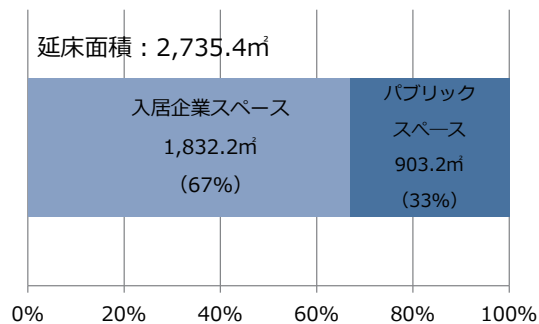
<企業>

- ・インキュベーション施設での創業期を経て、さらなる規模拡大を目指す企業
- ・新技術や新製品の研究開発を進め、さらなる規模拡大を目指す企業
- ・新分野進出によりさらなる規模拡大を目指す企業
- ・企業の研究開発部門
- <産学連携企業等>
- ・大学や企業間の連携による事業化を目指して共同研究開発を行うグループ

入居期間

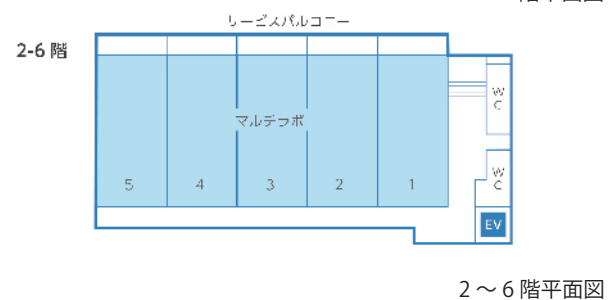
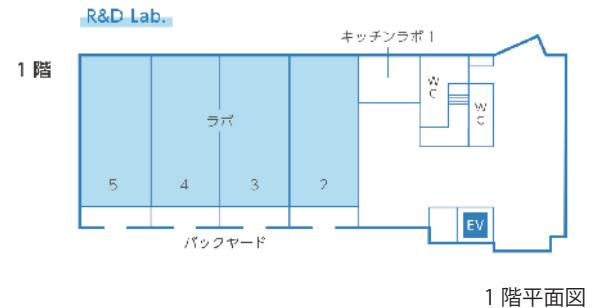
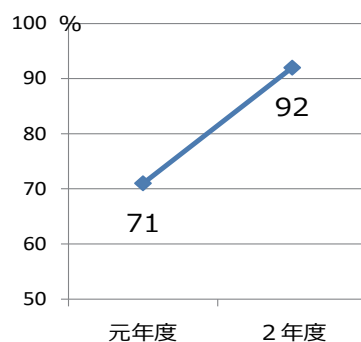
5年間（再契約可能）

施設概要



	ラボ	マルチラボ
設置階	1 階	2 ～ 6 階
部屋数	4 室	25 室
床面積	63.2m ²	63.2m ²

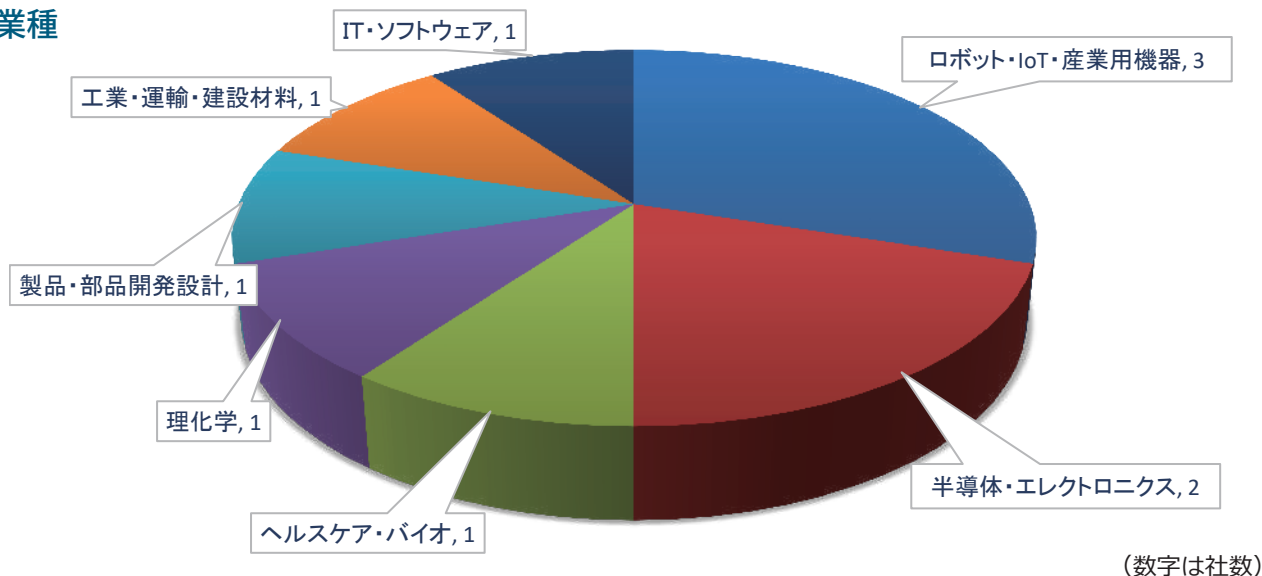
入居率（賃料ベース）



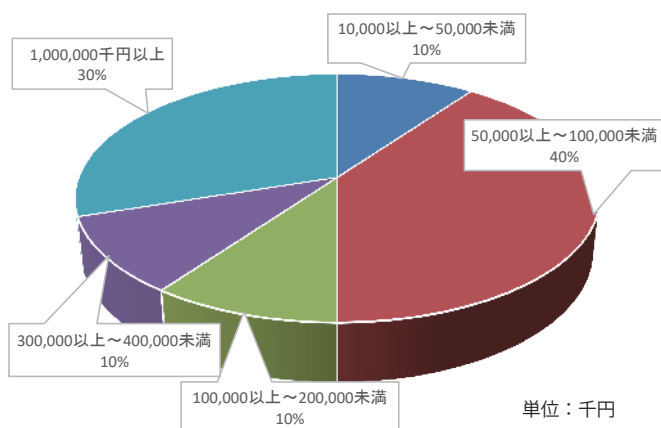
1-2-4

S I C - 2 R&D Lab. 入居企業データ (令和3年3月末)

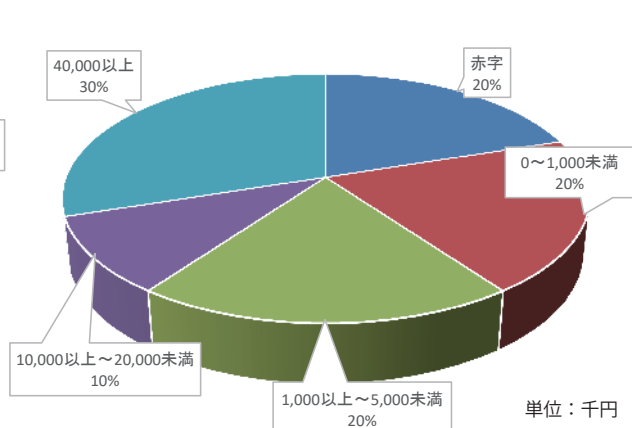
業種



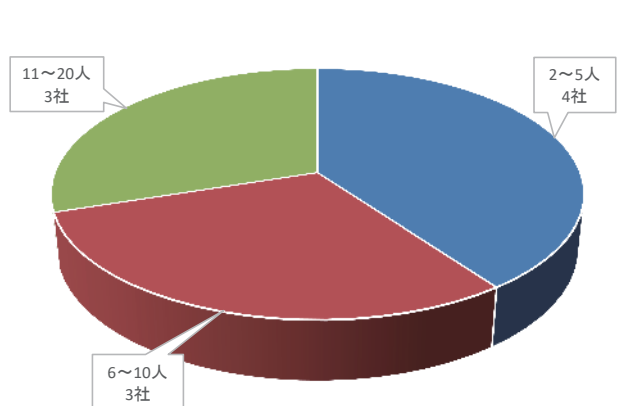
売上高



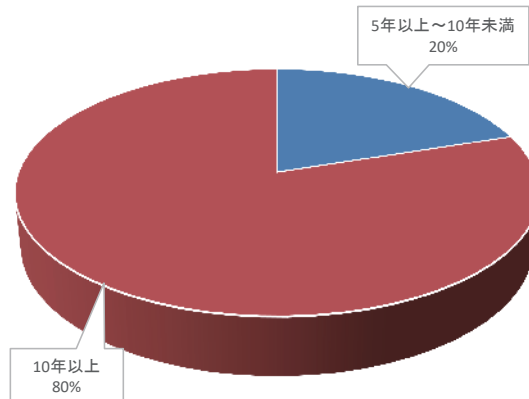
最終利益 (税引き後利益)



雇用



創業年数



売上高合計	33,449,616 千円	※上場企業除く
雇用者合計	10 社 88 人	

1-3-1

S I C - 3 Innovation Lab. (ポストインキュベーションセンター)

入居対象

<企業>

- ・インキュベーション施設での創業期を経て、更なる規模拡大を目指す企業
- ・独創的な技術により、更なる規模拡大を目指す地域の中小企業

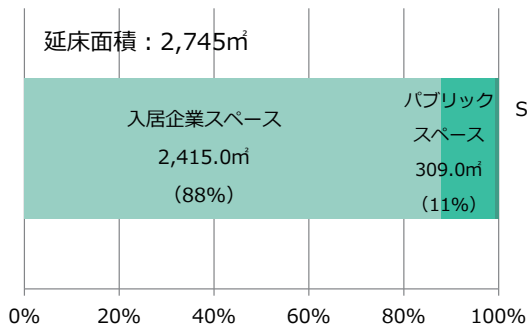
<産学連携企業等>

- ・大学や企業間の連携による事業化を目指して共同研究開発を行うグループ

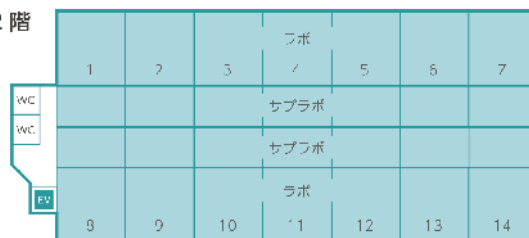
入居期間

5年間（再契約可能）

施設概要

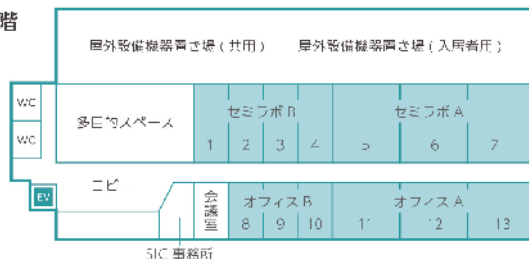


1-2 階



1 階、中 2 階平面図

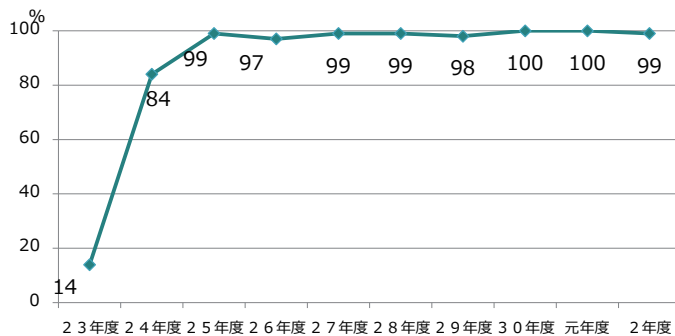
3 階



3 階平面図

	ラボ	セミラボA	セミラボB	オフィスA	オフィスB
設置階	1 階 : 中 2 階			3 階	
部屋数	14 室	3 室	4 室	3 室	3 室
床面積	84m ² : 28m ²	56m ²	28m ²	42m ²	21m ²

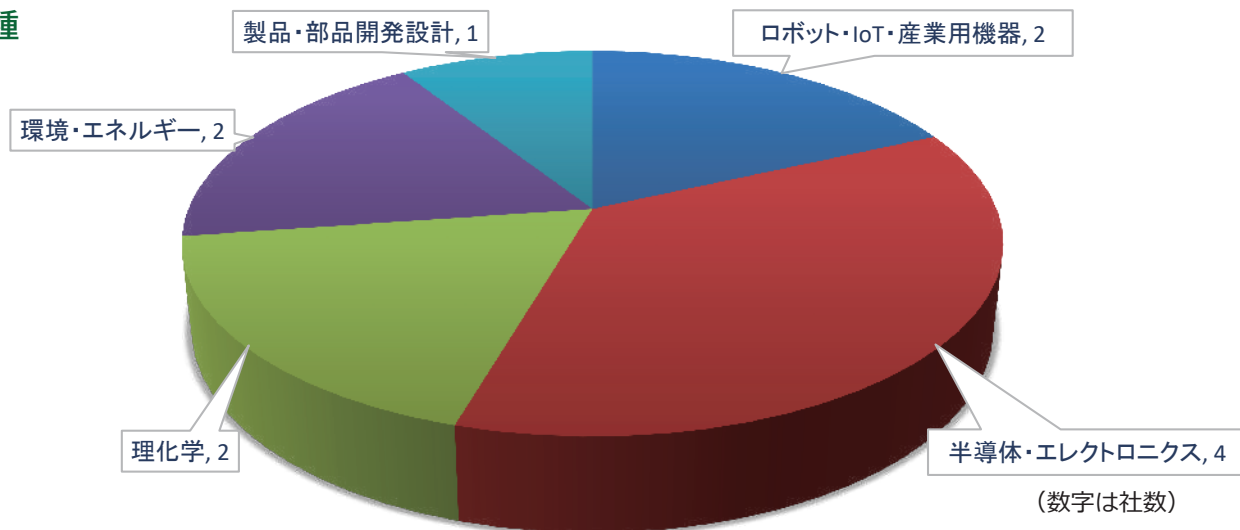
入居率（賃料ベース）



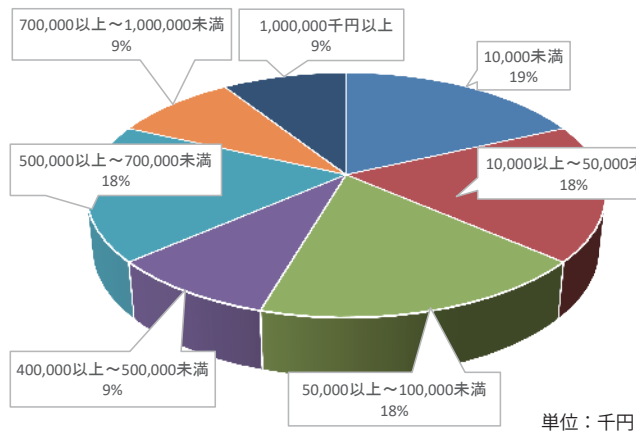
1-3-2

S I C - 3 Innovation Lab. 入居企業データ (令和3年3月末)

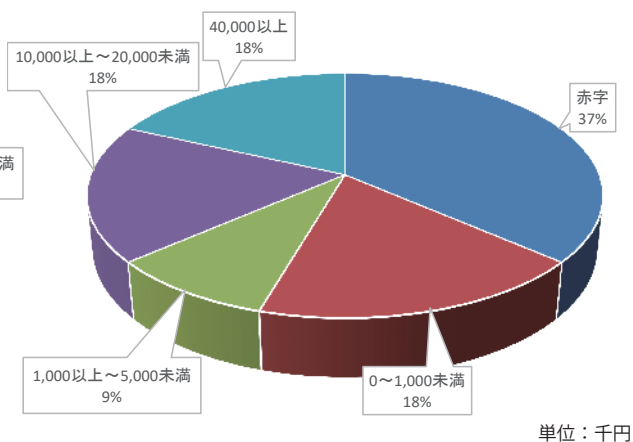
業種



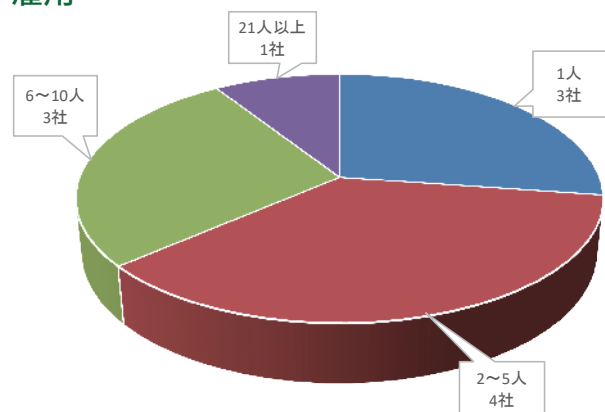
売上高



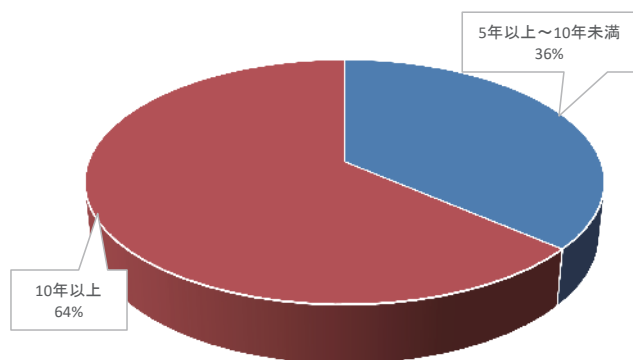
最終利益 (税引き後利益)



雇用



創業年数



売上高合計	4,983,926 千円
雇用者合計	11 社 83 人

1-4

EN-Garege（創業者向けシェアサービス）

EN-Garege（エン・ガレージ）は創業者または創業準備者向けにビジネスの執務環境を提供するサービスです。

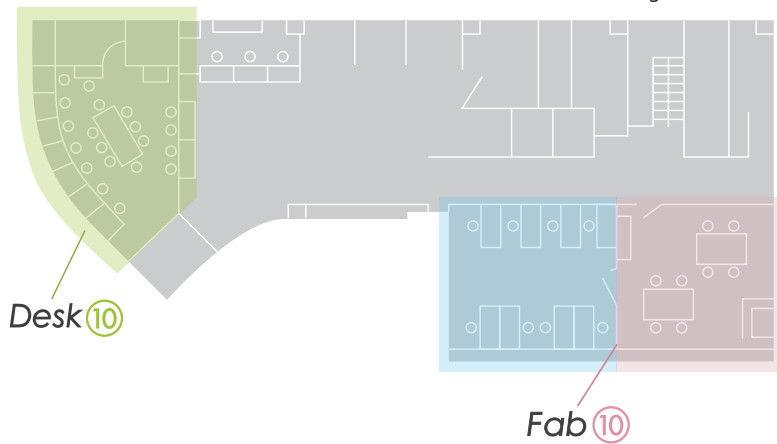
Desk¹⁰

Desk¹⁰はデスクワーク利用に最適で、オフィス環境をシェアすることでリーズナブルな料金となっています。リモートワークの場所としても利用可能です。

Fab¹⁰

Fab¹⁰ではものづくり環境を提供します。軽微な組み立てや評価・検査などのスペースとして、また、設計業務などを行うプランニングエリアも整えています。

EN-Garege フロアイメージ



Desk¹⁰



Fab¹⁰

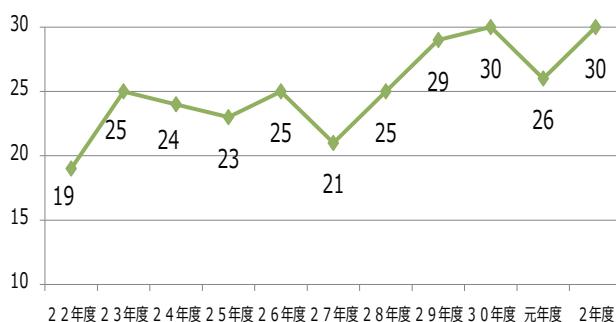
キッチンラボ

創業者向けシェアサービスの一環として“キッチンラボ”を運営しています。キッチンラボは、これから飲食店を開業を目指す方に短期間でのご利用が可能です。開業前のメニュー試作やオペレーションの試行をすることで、本格的な開業を円滑化させ、地域内の繁盛店創出に貢献します。

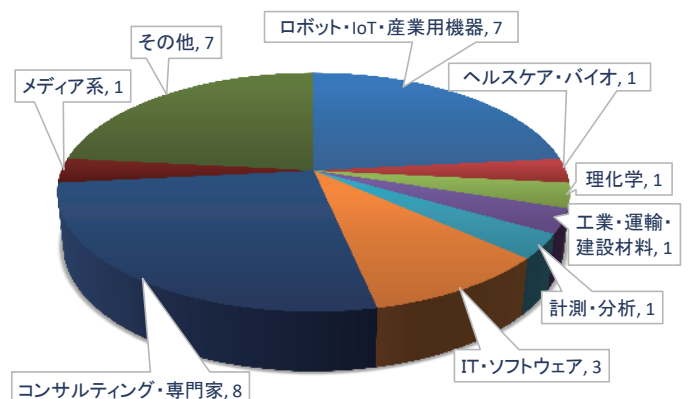


入居者数

者・人・企業



業種

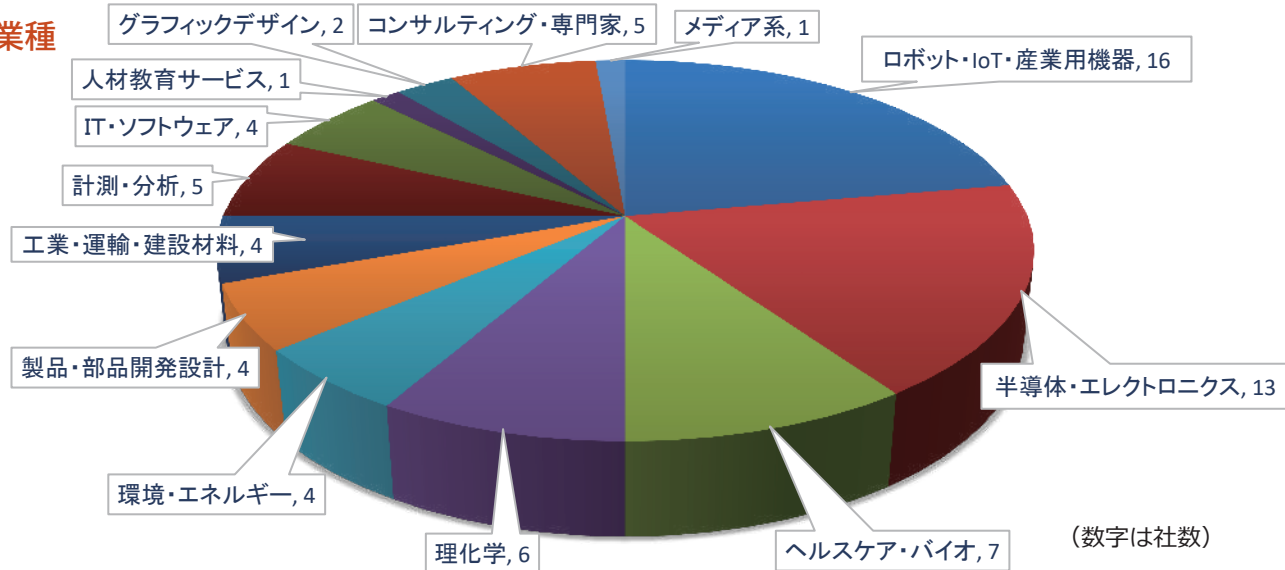


1-5-1

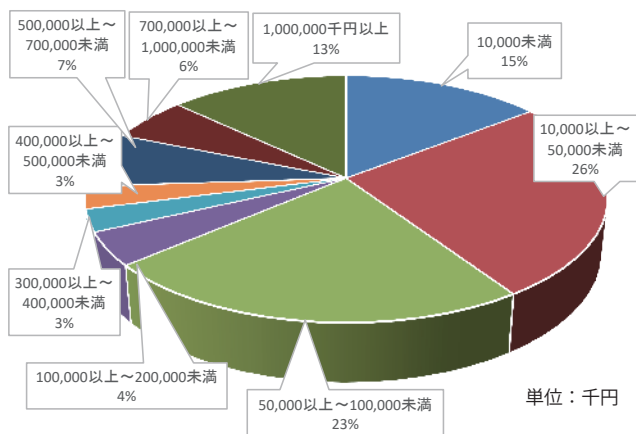
S I C 全体

入居企業データ (令和3年3月末)

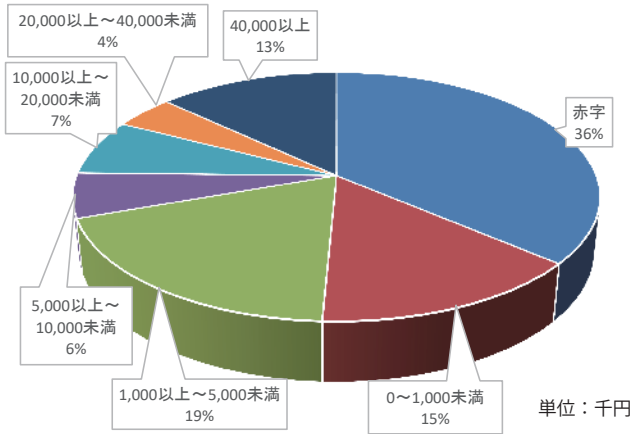
業種



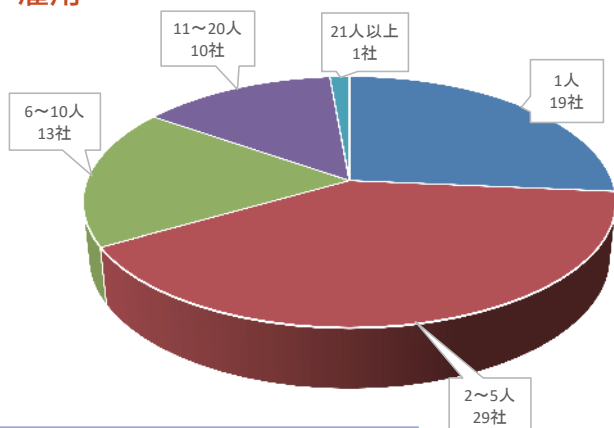
売上高



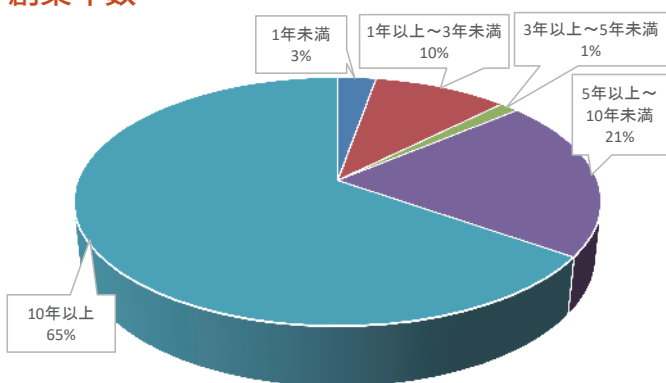
最終利益 (税引き後利益)



雇用



創業年数



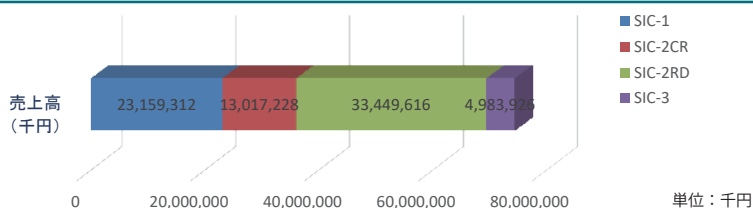
売上高合計	74,610,082 千円	※上場企業除く
雇用者合計	72 社 413 人	

1-5-2

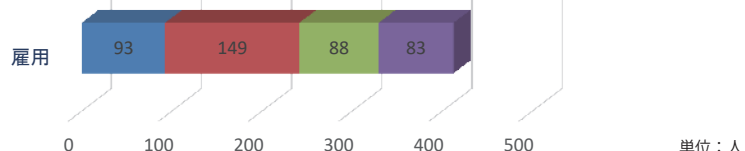
S I C 全体

入居企業データ (令和3年3月末)

売上高 74,610,082 千円
(上場企業除く)



雇用 413 名



知的財産 (令和2年度内)

	特 許		実用新案		意 匠		商 標	
	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数
出願数	17	35	0	0	0	0	3	5
うち海外	4	4	0	0	0	0	1	1
権利化数	6	6	0	0	0	0	3	7
うち海外	0	0	0	0	0	0	1	1

研究開発補助金 ◇ 展示会出展 ◇ 新製品・新サービス (令和2年度内)

研究開発補助金

12 社 14 件

相模原市ロボットビジネス推進企業等集積促進補助金、ロボット関連産業基盤強化事業費補助金、相模原市中小企業研究開発補助金、神奈川県中小企業小規模企業再起促進事業費補助金、横浜市中小企業新技術新製品開発促進補助金、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進ものづくり補助金、ものづくり・商業・サービス経営力向上促進補助金、地域復興実用化開発事業、航空機用先進システム実用化プロジェクト

展示会出展 (海外開催含む) 19 社 37 件

農業 Week 2020、京都スマート農業祭 2020、YUASA Growing フェア、ロボテス EXPO2021、DRINK JAPAN、関西ものづくりワールド、ウェルディングショー、MECT、MF 東京、OPIE21、テクニカルショウヨコハマ 2021、第 29 回ポリマー材料フォーラム、第 3 回高機能塗料展、Makers Faire TOKYO、IoT つくるよ！、Meet up in AGU2019@SAGAMIHARA、光通信技術展 2020、危機管理産業展 2020、第 35 回インターネブコン、食品開発展、日本顕微鏡学会学術講演会機器展示、日本金属学会春期講演大会付設展示会、軽金属学会秋季大会機器カタログ展示、CEATEC2019、IEEE World Haptics Conference 2019、ロボデックス 2021、ビジネスマッチ東北、THE COBOT EXPO JAPAN、第 5 回ロボデックス、次世代技術 EXPO サービス Tech2021、SEE CAT、DSEI JAPAN、国際画像機器展、The29th International Toki Conference on Plasma&Fusion Research、33rd International Symposium on Superconductivity、2020 年度秋季低温光学超電導学会研究発表会

新製品・新サービス

23 社 42 件

小型多機能ロボット DONKEY、クリーニングレーザ、メラトベル顆粒小児用 0.2%、自動微量炭化装置、イノガン、三次元測定サービス、AI 自動運転カー学習キット、EXFO Inc. 代理店による光測定器、光給電モジュール、CareVision 750IF (フラットパネルディテクタ)、CareVision 560IF (フラットパネルディテクタ)、HVG160SE1K8P437 (高圧電源)、HVG225SE3KOP439 (高圧電源)、緊急通報ハンマー、ワイヤレスイヤホンモニターシステム、ナイロンファイバーコート (化粧品)、APEX・EBSD ソフトウェア、ねじ締めトルクチェッカー、ソーラー式無線カメラ /CAR-101、乾電池式センサーカメラ /AT-01、IRB390 FlexPacker、PickMaster Twin、FDA 対応 AI メッキ銅板用ノックロム処理剤、業務用ドライ清掃ロボット Asion、TIG 溶接ロボット Co TIG Weldas、汎用ロボットベース、ドライ掃除ロボット、デュアル SIM マルチキャリアローカル 5G 対応産業用ルータ HWJG-3200-V2、超低レート耐環境型ビデオエンコーダ ULC、プライベート LTE 用大型基地局 RDL6000、SRT 搭載 4K60P エンコーダ /デコーダ TCS-8500、OPTAGIS(2020 年 2 月)、SLG-150V-NIR、SPX-TB07、SPX-TB30、SPX-TB70、SC wire with APC イエビニングセンター入り超電導線材、Double stashed wire 重ね合わせ線材、SAPO+(メンテナンスサービス)、リセール (部材中古販売) 他

2-1

経営サポート

企業支援

事業の目的

創業や新分野進出に意欲的な入居企業や地域企業の様々な経営課題を解決する。

▶ 経営課題支援の内容

対 象：入居企業・地域企業

支援手法：インキュベーションマネージャーとメンター、アドバイザー、専門家等が連携した支援

協力機関：きらぼし銀行

支援契約数：業務委託契約 6 社、顧問契約 14 社（入居企業 12 社、地域企業 2 社）

支 援 内 容		入居 企業数	地域 企業数	計
顧問契約		12 社	2 社	14 社
業務委託契約	Web 制作・デザイン支援	—	1 社	1 社
	特許・商標等取得	1 社	1 社	2 社
	公的認定取得	1 社	—	1 社
	ビジネス研修	1 社	—	1 社
	商品開発支援	—	1 社	1 社
	業務委託契約 小計	3 社	3 社	6 社
合計		15 社	5 社	20 社

2-2

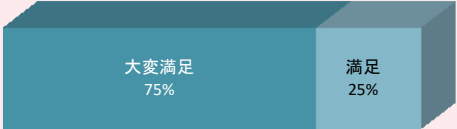
経営サポート

セミナー

事業の目的

入居企業や地域企業に経営のヒントを提供する。

対 象：入居企業・地域企業

実施事業	参加人数	具 体 的 内 容
経営者セミナー	67 名	テーマ：「すぐやる！」経営術が真価を発揮する時！ ～混迷期に求められるビジネスモデルとは～ 講 師：久米繊維工業株式会社 取締役相談役 久米 信行氏 日 時：令和 3 年 2 月 24 日（水） 場 所：オンライン開催 
ミニセミナー	3 名	The HINT 47 テーマ：コロナ禍における公的支援策について 講 師：さがみはら産業創造センター 日 時：令和 2 年 6 月 17 日（水） 場 所：オンライン開催 ※説明会形式のため、アンケートは実施せず
	35 名	The HINT 48 テーマ：相模原市「中小企業研究開発補助金」公募説明会 講 師：相模原市 産業支援課 日 時：令和 2 年 8 月 25 日（火） 場 所：オンライン開催 ※説明会形式のため、アンケートは実施せず
	21 名	The HINT 49 テーマ：新型コロナウイルス感染症の“現在地”と“ワクチン開発への挑戦” 講 師：動物アレルギー検査株式会社 代表取締役社長・ エピトマップ株式会社 代表取締役 増田 健一 氏 日 時：令和 2 年 10 月 26 日（月） 場 所：オンライン開催 
	8 名	The HINT 50 テーマ：アート思考によるイノベーションの種づくり ～経営・ビジネスに活かせる新たな思考・発想法～ 講 師：プラスアルファドットティーヴィー 代表 北 桂樹 氏 日 時：令和 3 年 3 月 8 日（月） 場 所：オンライン開催 

2-3

技術開発

さがみはら表面技術研究所

事業の目的

地域企業と大学・研究機関の連携・交流機能を整備・運用し、企業の技術的な強みを活かした事業開発に貢献する。

活動実績

活動内容	
1	技術相談・コーディネート・技術支援等
2	交流・広報活動（講演・ラジオ出演等）



活動実績 事例

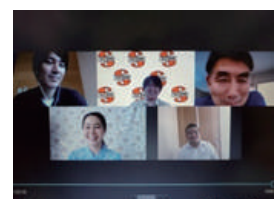
1. 技術相談・コーディネート・研究支援等

- ① ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（令和元年度補正・中小企業庁）では、各中小企業向けに事業計画立案から関わり、申請書の作成指導まで一貫した支援を行った。また、補助事業採択後には、事業進捗アドバイスや補助事業完了後のサポートに至るまで、多岐にわたる業種の中小企業に対して支援を行った。
- ② ものづくり補助事業終了後の事業者へ事業化相談や事業化状況報告の支援を行った。
- ③ 経営力向上計画申請についての相談・申請支援を多岐にわたる業種の中小企業に対して行った。
- ④ 先端設備等導入計画申請についての相談・申請支援を多岐にわたる業種の中小企業に対して行った。
- ⑤ 事業継続力強化計画申請についての相談・申請支援を多岐にわたる業種の中小企業に対して行った。
- ⑥ 神奈川県中小企業・小規模再起促進事業費補助金では、事業者の補助事業推進と報告書作成等を支援し、革新的な防災対策製品における製造販売の事業化を促進した。
- ⑦ 関東甲信越の事業者を中心に、製菓事業者の生産性向上を高めるために、機械化の促進と新規商品の企画開発を推進した。
- ⑧ 当所のシェアラボに、研究開発型事業者が保有する分析装置の設置・活用を支援し、生産性向上に寄与した。
- ⑨ 入居企業の危険物等安全管理についてヒアリング・現場確認を行い、アドバイスをを行った。
- ⑩ オンラインを活用し、ものづくり・サービス等様々な事業者へ新規事業のためのアドバイスをを行った。



2. 交流会・広報活動（ラジオ出演等）

立教大学名誉教授・山口義行氏が主宰する、中小企業サポートネットワーク Small Sun 配信のインターネットラジオ「トモトリエコのモノづくりサポーターズ」でパーソナリティを務め、様々なものづくり企業を紹介しており（<http://ss-ir.blogspot.jp/search/label/>）、今年度末で通算第 79 回目を配信済み。



2-4-1

技術開発

首都圏南西地域連携サポート事業

事業の目的

相模原市を中心とした神奈川県県央地域及び町田市、八王子市に広がる首都圏南西地域において、企業、大学・研究機関、金融機関及び支援機関の広域連携の場として首都圏南西地域産業活性化フォーラム（南西フォーラム）を開催し、さらには、産学官連携による研究会・分科会の推進や情報提供を通じ、新事業の創出や技術の高度化などによる地域産業の活性化を目指す。

▶ フォーラム

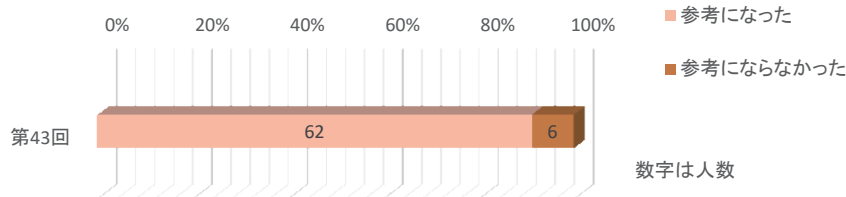
コロナ禍においても変化に適応し、成長を続けている企業の取り組み事例を通じて、急激な社会の変化にも対応できる事業戦略や新たなビジネスモデルを考えるきっかけとなることを目的に、フォーラムをオンラインで開催しました。

南西フォーラム	第43回 令和3年2月10日（水） ポストコロナ社会でチャンスをつかめ！ ～コロナ禍により明らかになった“これからのビジネス”とは～
	基調講演 「変化が加速したビジネス環境とアフターコロナを見据えた取り組みの可能性」 株式会社日本総合研究所 リサーチ&コンサルティング部門 理事 山田 英司 氏
	事例発表1 「楽しくなければ、仕事じゃない！～常識を覆す高利益率のデジタルものづくりとは～」 HILLTOP株式会社 代表取締役副社長 山本 昌作 氏
	事例発表2 「コロナにも負けない販売戦略～雇用を守りつつ前に進むビジネスモデル～」 株式会社生活の木 代表取締役 C.E.O 重永 忠 氏
	総括 「フォーラムを振り返って」 株式会社日本総合研究所 リサーチ&コンサルティング部門 理事 山田 英司 氏

▶ 参加者数

南西フォーラム	
第43回	130名

▶ 顧客満足度



▶ 顧客の声

- ・素晴らしい経営者の価値観に触れることができました。
- ・状況が厳しくともしっかりと戦略と信念をもって経営することの大切さを学びました。

2-4-2

技術開発

首都圏南西地域連携サポート事業

研究会・分科会

IoT 研究会

相模原市におけるIoT関連技術開発および事業開発を推進することを目的に、産官学連携の場を作るとともに、具体的な開発テーマを設定し、技術開発・製品開発・市場開発を推進するための取り組み4年目として、多方面からの議論を行いました。

<研究会>

	開催回数	主な内容	参加者数
IoT研究会	全5回	IoT技術を活用したビジネス展開を目指して、IoT関連技術やビジネスの現状を参加者間で共有し、国内の先進的な事例や技術情報等を踏まえた新たな事業開発の検討	42名

<ワーキング・グループ>

	開催回数	主な内容
AI実装ワーキンググループ	全3回	AI実装に向けての技術検討、実際のロボットにシステムを搭載するための検討
食農ワーキング・グループ	全7回	食事と農業とのつながりの研究を通して、地域コミュニティにおける技術導入（IoT技術など）による効果的な社会構築の検討

アフターコロナ分科会

地域の中小企業が新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、自社のビジネスをどのように展開していくかのヒントを得ることを目的に、オンラインミニセミナーを開催しました。

	開催日	内 容	参加者数
第1回	令和2年10月28日（水）	アフターコロナ概論 「新型コロナウイルスによる中小企業への影響と、今後の展望」 関東経済産業局 地域経済部 地域振興課 係長 近藤 裕貴氏・浅井 克仁氏	18名
第2回	令和2年11月11日（水）	アフターコロナ取組事例① 「リモートワークの導入と、運用上の課題」 株式会社テクニカルエンジニアリングサポート 代表取締役 奥岡 彰氏	16名
第3回	令和2年12月3日（木）	アフターコロナ取組事例② 「リモート社会での顧客動向の変化と、非常時こそ振り返る自社の価値」 株式会社みやじ豚 代表取締役社長 宮治 勇輔氏	11名

2-5-1

技術開発

産業用ロボット導入支援事業

事業の目的

ものづくり中小企業を中心とした相模原市内企業への産業用ロボット導入支援を通して、人手不足等の課題を抱える企業の生産性向上等を図る。また、市内におけるロボット関連企業の育成や集積等に取り組むことにより、ロボット産業の創出を通じた地域産業振興を図る。

概要

(1) さがみはらロボット導入支援センター

SIC-2 R&D Lab.ラボ内に設置している「さがみはらロボット導入支援センター」で、産業用ロボットの展示、自動化相談及びロボット操作教育などを実施。

○来所者実績（令和2年4月～令和3年3月の1年間）

延べ350団体・870名（内、製造業者：143社）

○ロボットシステム 6システム設置・展示



(2) ロボット導入を具体的に検討する企業向けの相談・コンサルティング

産業用ロボット導入が進んでいない工程への導入を支援するために、ロボット導入を検討する企業への窓口相談および出張相談などの活動を実施。

活動内容	企業数	市内企業数	市外企業数
窓口相談 さがみはらロボット導入支援センターでの相談	18社	11社	7社
出張相談 工場の自動化診断を経て、ロボットによる自動化システム、作業改善・工程改善による生産性向上施策などの提案	14社	6社	8社

(3) 中小企業生産性向上支援

ロボット導入相談に付随して発生する現場改善やIoT活用等に関する相談体制を強化することを目的に、スマートものづくり応援隊などの幅広い専門家ネットワークを有する相模原商工会議所と連携して、相模原市内中小企業の生産性向上支援を実施。

○実施結果

支援企業数： 4社 専門家派遣回数： 16回

(4) カイゼン支援事業

中小製造業の技術者を対象に自動化や省人化を進めるうえでの知識や考え方など、中小企業の生産性向上に資するセミナーを開催。



自動化技術セミナー

セミナー名	参加者数
「改善基礎セミナー」 講師：青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授 松本 俊之 氏	20社・25名
「自動化技術セミナー」 ①『低コスト・省エネな自動化を考える からくり改善の概要と基本機構』 講師：角田 英政 氏（公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 普及推進部） ②『ロボット導入による社内イノベーション～ロボット導入による人材育成～』 講師：荒木 弥 氏（株式会社アラキエンジニアリング 代表取締役） ③『自動化のための製造工程情報活用の考え方』 講師：川下 敬之 氏（ケイデンスコンサルティング 代表 / さがみはらロボット導入支援センター 統括コーディネータ）	21社・30名

2-5-2

技術開発

産業用ロボット導入支援事業

(5) ロボット技術者育成事業

中小企業の技術者が産業用ロボット導入に必要な知識及び技術を習得することを目的にセミナーを開催。



改善実践セミナー

セミナー名	参加者数
「改善実践セミナー」 ①『改善マネジメント』 講師：松本 俊之 氏（青山学院大学 理工学部 経営システム工学科 教授） ②『自動化と安全』 講師：外山 久雄 氏（日本認証 株式会社 SA事業部） ③『レイアウトカイゼンの基礎』 講師：後藤 慎一 氏（M&S Atelier Japan 代表 / さがみはらロボット導入支援センター コーディネーター）	11社・18名
「ロボット操作教育（基礎）」 講師：三菱電機システムサービス株式会社 太田 忠靖 氏	4社・4名
「シーケンス制御（基礎）」 講師：株式会社バイナス 営業部 教育センター 課長代理 中野 裕隆 氏	3社・3名
「IoT技術 活用実践講座」 講師：富田 IT 経営コンサルティング合同会社 代表社員 富田 良治 氏	3社・3名

(6) システムインテグレータ育成事業

システムインテグレータとそこに従事するロボットエンジニアが産業用ロボット導入に必要な不可欠な存在であるにも関わらず圧倒的に不足している状況を解決するために、専門人材の育成に必要な高度教育を実施。

○産業用ロボットビジネスフォーラム（参加者数：166名）

日 時：令和3年3月5日（金） 14時00分～16時00分

場 所：オンライン開催

協 力：株式会社ゆめサポート南相馬、株式会社つくば研究支援センター

テーマ：相模原市 × つくば市 × 南相馬市

内 容：

1. 開会挨拶 相模原市 環境経済局 経済部 産業支援課 課長 佐伯 正和 氏
2. プログラム (1)『ロボットを取り巻く環境変化と政策の方向性』 講演者：経済産業省 製造産業局 産業機械課 ロボット政策室 技術二係長 二谷 恭平 氏 『北海道におけるロボット政策の取組について』 講演者：経済産業省 北海道経済産業局 地域経済部 製造・情報産業課 機械産業係長 丸山 直斗 氏 (2)広域連携事例 『業務用ドライ掃除ロボット Asion（アシオン）』 講演者：株式会社キャロットシステムズ 代表取締役 西澤 勇司 氏 株式会社F-Design 代表取締役 藤本 恵介 氏 株式会社クフウシヤ 代表取締役 大西 威一郎 氏 『南相馬市のロボット関連施策紹介』 講演者：南相馬市 経済部 理事 笹野 賢一 氏 (3)地域別事例発表 『小型多機能ロボットと『DONKEY（ドンキー）』が創る世界』 講演者：株式会社DONKEY 代表取締役 山本 秀勝 氏 『サウザーシリーズの拡がりパートナー連携体制のご紹介』 講演者：株式会社Doog 代表取締役 大島 章 氏 『ロボット開発における連携・協力事例』 講演者：株式会社タカワ精密 取締役 渡邊 光貴 氏
3. 閉会挨拶 東京大学 名誉教授 佐藤 知正 氏

2-5-3

技術開発

産業用ロボット導入支援事業

○ロボットSler養成講座（受講者数：8社・9名）

期 間：令和2年10月21日（水）～令和2年12月11日（金）（全10回）

場 所：オンライン開催

※一部カリキュラムについては、株式会社さがみはら産業創造センター 大会議室使用

内 容：

	内 容	講 師
第1回	オンライン時代の戦略的ヒアリング力とロジカルプレゼンテーション力	株式会社スタンコミュニケーションズ
第2回	課題解決グループワーク	
第3回	Slerケーススタディ バリ取り工程の自動化	株式会社アラキエンジニアリング
第4回	付加価値に着目したシンプルな設備設計	青山学院大学 教授 松本 俊之氏
第5回	ロボットシステム導入を成功に導くプロジェクトマネジメント講座	アイシンク株式会社
第6回	ロボットSlerのための安全講座	日本認証株式会社
第7回	グループワーク中間発表	
第8回	先進Sler企業webツアー	三明機工株式会社
第9回	先端技術講座	日本サポートシステム株式会社
第10回	グループワーク最終発表	

2-6

人材育成

SIC 経営塾

事業の目的

先端的なケーススタディを通じ、経営の理論と実践を学び、塾生自らが事業構想を再構築することにより、「真の経営力」を養成することを最終目的とする。

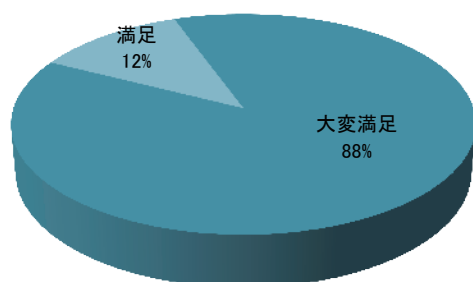
▶ 受講生

- ・ 6名 累計 181名
- ・ 次世代の経営者や経営幹部

▶ 聴講生

- ・ 2名 累計 35名

▶ 顧客満足度



▶ 受講生の声

- ・ 皆様と知り合える場、刺激を得られる場として、すばらしく思います。次回以降、社員の中から、参加させたいと思います。
- ・ 自分の知識の無さ、意識の低さが良く分かりました。寺本先生はじめ SIC の皆様の、塾生を育てようとして下さる思いがとても伝わりました。
- ・ 他社の課題や解決策を知ること、自社に活かすことが出来る。
- ・ きめ細やかなご指導頂き誠にありがとうございました。教材もコンパクトで分かりやすかったです
- ・ 大変わかりやすく勉強になりました。テーマがはっきりしていて、毎回わかりやすかったです。
- ・ 7ヶ月間楽しく学ばせて頂きました。参加前は不安でしたが、参加して良かったです。復習して、今後に生かしてまいります。
- ・ 自身が経営する立場に成長するために、大変、貴重な時間でした。
- ・ 講義を通じて、志の近い仲間との出会いの場とも感じ、感謝しております。
- ・ 講義だけではなく塾生の皆様と一緒に学べたのは、貴重な機会となりました。

▶ 活動内容

講義

最先端の経営理論を学びます。

- 先端企業経営者の実体験や様々な先進的な取り組み事例を通して最新の経営理論と実例を学び、自社の課題に置き換えて検証します。



討論

塾生、コーディネータとの討議を重視します。

- 課題図書、事例研究を基に、異業種の方々と討論が自社を見つめ直し、自社の事業構想を構築する良い機会となるでしょう。



事業構想の再構築

最終ゴールは自社の事業構想の再構築です。

- 実証的な研究や討論を通し、自社を客観的に見つめ直し事業構想を策定し、自社における「NEXT STAGE」を考えます。



■カリキュラム：

回	課題シート・講義内容
1	オリエンテーション
2	わが社の経営の現状を語る
3	現状を分析する
4	存在意義を問う
5	コアコンピタンスを定義する
6	戦略シナリオを考える
7	財務構造を改善する
8	組織文化の変革を仕掛ける
9	事業構想を打ち出す
10	わが社の経営の将来を語る (自社の事業構想の発表)

2-7

人材育成

SIC 職場リーダー養成塾

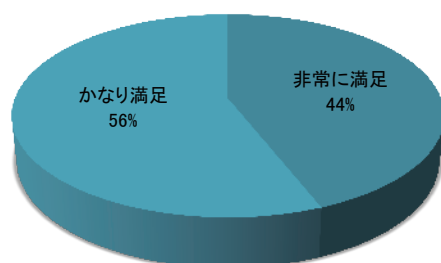
事業の目的

地域企業の中堅層の職場リーダーに対して、業種の異なるリーダーとの他流試合やコミュニケーション研修、社内実践による職場の課題解決を通して、職場リーダーとして求められる「組織で成果を出す力」を養成する。

▶ 受講生

16名 累計 222名

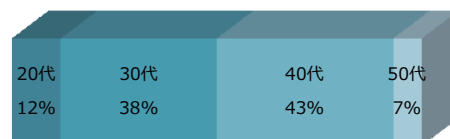
▶ 顧客満足度



▶ 受講生の声

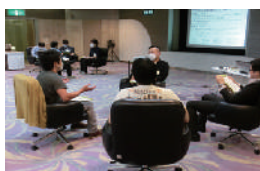
- ・他人の意見を聞く機会が少ないので有意義だった
- ・自分に足りないものが学べた
- ・コミュニケーション、プレゼンの講義もためになった
- ・色々アドバイスをもらえ、仕事に活かしやすかった
- ・周りを巻き込み行動計画を立てながら課題を達成する流れを作ること
- ・人との接し方やコーチング、コミュニケーションの実践方法
- ・他社の方との交流の中で視野を広げることができた

▶ 受講生の年齢構成



▶ カリキュラム

	開催日	内容
	8月下旬～9月中旬	事前ヒアリング
第1回	令和2年 9月 26日(土)	オリエンテーション・職場のコミュニケーション①
第2回	令和2年10月 12日(月)	課題解決の枠組みを理解する
第3回	令和2年10月 28日(水)	職場の問題を抽出する
第4回	令和2年11月 4日(水)	
第5回	令和2年11月 9日(月)	職場のコミュニケーション②
第6回	令和2年11月 18日(水)	職場の課題解決の枠組みを検討する（問題把握、課題設定、目標設定、対策検討、行動計画）
第7回	12月上旬	課題解決取り組みフォロー個別指導（1回目）
第8回	令和2年12月 16日(水)	職場の課題解決の枠組みを決定する
準備期間	12月中旬～下旬	社内実践準備期間
実践機関	1月～2月	社内実践期間（2ヶ月間）
第9回	令和3年 2月 10日(水)	プレゼンテーションを学ぶ
第10回	令和3年 3月 10日(水)	成果発表会



2-8-1

人材育成

『子どもアントレ』『アントレ・チャレンジ』

事業の目的

『子どもアントレ』

小学生を対象に初めて出会う仲間と会社設立から決算までの会社経営のプロセスを疑似体験することで、以下のようなことを学ぶ。

- (1) 会社や経済の仕組みを知る
- (2) 失敗を恐れずに挑戦できる心を養う
- (3) 自分の考えで行動できる力を養う
- (4) チームワークの大切さを知る
- (5) お金の大切さを実感する

『アントレ・チャレンジ』

プロジェクト（子どもアントレ）の企画・運営（仕事体験）を通じて、以下のことを学ぶ。

- (1) 起業家精神（チャレンジ精神、創造性等）および主体性を涵養する。
- (2) 経営者との交流、社会人の思考や行動を知ることなどを通じて、将来（キャリア）を考えるきっかけとするとともに、社会人としての心構え、あるべき姿を学ぶ。

▶ 令和2年度の取り組み内容

1. 実行委員会

産業、教育、行政の各界のメンバーによって構成。

参加者及びスタッフを「新型コロナウイルス感染症に感染させないためにどうすべきか」を念頭に開催の是非を検討した結果、感染させないで安全に開催することは難しいとの判断に至り、本年度の開催を見送った。

第1回、令和2年4月30日	第3回、令和2年11月11日
第2回、令和2年9月15日	第4回、令和3年3月18日

2. 子どもアントレ

昨年度に引き続き、市内小学校の総合学習に対するサポートを行った。

昨年度、市内小学校の5年生（120名余り）の総合学習の時間に子どもアントレのプログラムを活用した授業を提供し、半年余りの活動の結果「918円」の利益を計上した。6年生になりその活用策を考えるきっかけの一つとして、相模原橋本ロータリークラブ様にご協力いただき、9月29日に「ホンジュラスの現状と支援について」と題して、同年代の子供たちがおかれている現状を知るとともに、国際貢献の必要性、継続的な支援の必要性などについて考える機会を提供した。



2-8-2

人材育成

『子どもアントレ』『アントレ・チャレンジ』

3. アントレ・チャレンジ

本事業における懸案事項、および新型コロナウイルス感染症への対応などについて課題を整理した。

(1) 受講者の安定確保

就職活動の早期化により、インターンシップの位置付けが就業体験から就職活動へと変化していることから受講者が減少している。

(2) 受講者の負担軽減

活動期間が4ヶ月（6月下旬から10月下旬）に亘っていること、活動日数が30日余りあることなどにより受講に二の足を踏む学生が多くなっている。

(3) 事業資金の安定化

コロナ禍継続による収入の減少が見込まれるため、事業資金の確保が困難になる恐れがある。

上記の課題解決に向け、OBOGへのヒアリングなどを通じて対応方針をとりまとめた。

(1) 子どもアントレ参加者やアントレ・チャレンジ受講者と、継続的で密度の濃い関係を構築するための仕組みを検討し、導入する。

(2) カリキュラムの再考および活動日数の削減はもとより、対面での活動に加え、オンラインでの活動を実施することで受講者の負担軽減を図る。

(3) クラウドファンディングの活用を検討する。

【参考：2019年のアントレ・チャレンジの様子】



【参考：子どもアントレの歴史・実績】

平成13年（2001年）8月、第1回子どもアントレを開催

令和2年（2019年）8月、第19回子どもアントレを開催

修了者は833名

【参考：アントレ・チャレンジの歴史・実績】

平成16年（2004年）5月、第1回アントレ・インターンシップ（現アントレ・チャレンジ）を開催

令和2年（2019年）6月、第16回アントレ・チャレンジを開催

修了者は143名

2-9

人材育成

サガツクナビ（地元企業と学生との出会いをつなぐ）

事業の目的

“地元企業の採用の円滑化”と“地元で働きたい学生の就職の円滑化”を目指して、神奈川県県央地域、東京都多摩地域をフィールドに定め、地元企業の魅力を伝えるイベントとインターネットでの企業情報発信の両輪で地元企業と学生の出会いの場を創出し、新卒採用（就職）のサポートをする。



実績

サガツクナビサイトへのアクセス状況：セッション数 18,310、訪問ユーザー数 14,014、ページビュー数 61,707 ページ
メールマガジン配信回数 33 回（受信者総数 3,301 名：学生 438 名、教職員 568 名、企業 2,295 名）
合同就職説明会 2 回開催、企業 5 社
個別相談会 学生 16 名（相談回数 45 回）
企業と学生（教職員）の相互理解サポート 3 回開催、企業 6 社、学生 58 名、教職員 2 名



情報発信

- ウェブサイトやメルマガなどによる情報発信
- ①サガツクナビサイトにて地元企業やイベント情報などを発信
- ②メールマガジン「サガツクナビ通信」の配信
- ③Facebook、Instagram での情報発信



イベント

<採用&就活サポート>

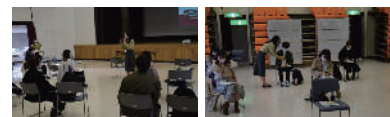
- ①ジョブミーツ（サレジオ高専（合同就職説明会）、麻布大学（オンデマンド配信））
- ②ジョブサポート（充実した就職活動となるよう就活生等に対する個別相談会）

<企業と学生（教職員）の相互理解サポート>

- ①KAIMAMI シリーズ（自分の知らない世界を垣間見る）
 - サレジオ高専（機械電子工学科 4 年生）就活スタートアップセミナー（セミナー編）
 - サレジオ高専（機械電子工学科 4 年生）就活スタートアップセミナー（交流会編）
 - 就活スタートアップセミナー 1（セミナー編）
 - 就活スタートアップセミナー 2（交流会編）

就活スタートアップセミナー

（セミナー編）



（交流会編）

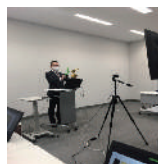


サレジオ高専就活スタートアップセミナー

（セミナー編）



（交流会編）



地元企業見学ツアー



2-10

販路開拓

海外販路開拓支援事業（台湾ビジネスサポート事業）

事業の目的

地域企業が継続的に発展するために海外展開をサポートする。海外へ比較的強い販売力を持つ企業が多く、日本とのビジネスの実績が十分にある「台湾」で、或いは台湾経由による他の国々でビジネスを発展・成長させていく。

事業内容

商談会

- ・台湾支援機関「台日産業連携推進オフィス（TJPO）」との協力体制による日本企業と台湾企業のオンライン商談会

個社支援

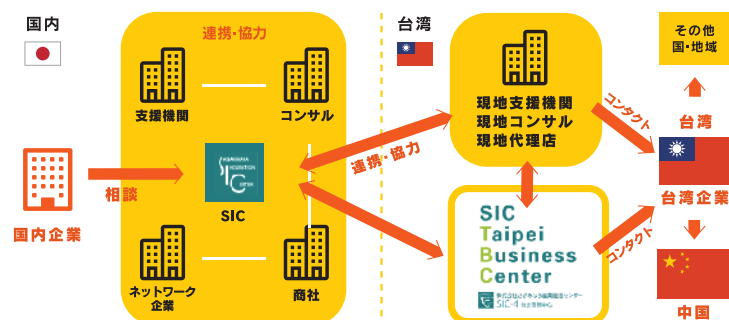
- ・半導体製造用治工具の台湾調達相談及び知財調査相談
- ・半導体製造装置及び医療機器関連部品の台湾販路開拓相談
- ・半導体関連事業の台湾 M&A 相談
- ・タッチパネル製造用部品の台湾販路開拓相談
- ・環境エネルギー関連装置の台湾調達相談
- ・日用雑貨の台湾販路開拓相談
- ・カメラ関連部品の輸出に係る台湾貿易実務相談
- ・制御装置の輸出に係る台湾貿易実務相談
- ・事業継続計画の翻訳相談
- ・中国現地人材探索相談
- ・無線通信機器の韓国販路開拓相談
- ・台湾企業からの PC 周辺製品日本国内代理店探索相談
- ・台湾企業からの建材日本国内販路開拓相談

顧客の声

- ・受託開発や OEM 生産、販路開拓など受発注先が見つかった。
- ・大手企業との提携を実現できた。
- ・海外現地法人を設立するきっかけづくりになった。
- ・素早い意思決定や行動力とそれを実現する組織づくりの重要性を知った。
- ・自社の技術や製品が海外でも十分に通用することが分かった。

運営体制

SIC では、国内の支援機関や商社、ネットワーク企業等の連携や協力だけでなく、『SIC 台北ビジネスセンター』による独自のネットワークを活用し、台湾現地の支援機関やコンサルティング会社、代理店との連携・協力を行いながら、支援体制を構築している。



3-1

さがみはら産業創造センターの歩み

1998 年度 (平成 10 年度)	・検討会の提言…市内の若手経営者、相模原市などの若手スタッフによる検討会が相模原市にセンター整備を提言
1999 年度 (平成 11 年度)	・会社設立…相模原市、相模原商工会議所及び新事業創出促進法に基き地域振興整備公団（現中小企業基盤整備機構）が出資し会社設立 ・増資…地元企業や地域金融機関などが出資 ・第 1 回女性起業家育成セミナー開催
2000 年度 (平成 12 年度)	・S I C-1（インキュベーションセンター）オープン ・第 1 回ビジネスプランコンテスト開催
2001 年度 (平成 13 年度)	・第 1 回さがみはら子どもアントレプレナー体験事業開催 ・増資…相模原市、地域振興整備公団（現中小企業基盤整備機構）、地元企業が出資
2002 年度 (平成 14 年度)	・S I C-2（ポストインキュベーションセンター）オープン ・第 1 回「S I C経営塾」開講 ・女子美術大学と「ヒューマンデザイン開発支援事業」に関する協定を締結、中小企業のデザインを支援するデザイン開発支援事業を開始 ・経済産業省から「即効型地域新生コンソーシアム事業」を受託
2003 年度 (平成 15 年度)	・職業能力開発総合大学校と「地域企業活性化支援事業」に関する協定を締結 ・八千代銀行（現きらぼし銀行）と「起業家支援事業」に関する協定を締結 ・地域企業 450 社の実態調査を実施
2004 年度 (平成 16 年度)	・神奈川工科大学と「産学連携事業」に関する協定を締結 ・第 1 回「S I Cアントレ・インターンシップ」開講 ・かわらばん（入居企業版）創刊号発行
2005 年度 (平成 17 年度)	・S I C 1 号投資事業有限責任組合（S I Cファンド）を組成 ・神奈川県「新産業創出拠点形成促進事業」を受託 ・S I C 燃料電池研究会が発足 ・第 1 回 S I C 起業家塾開講
2006 年度 (平成 18 年度)	・相模原市から「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」の運営を受託
2007 年度 (平成 19 年度)	・第 1 回職場リーダー塾開講 ・S P S 研究会が発足
2008 年度 (平成 20 年度)	・株式会社カイゼン・マイスターと業務提携し、地元企業向けのカイゼン支援を開始 ・かわらばん（地域企業版）創刊号発行
2009 年度 (平成 21 年度)	・さがみはら企業力支援事業を開始、併せてメンター（経営指南者）制度を創設 ・緊急雇用事業を相模原市から受託し、大規模な市内企業実態調査や産業界の人づくり支援事業などの人材育成に取り組む ・経済産業省から「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」を受託
2010 年度 (平成 22 年度)	・さがみはら表面技術研究所オープン ・インキュベーション型シェアードオフィス「DESK®」オープン ・第 1 回台湾ビジネスマッチングを開催
2011 年度 (平成 23 年度)	・台湾工業技術研究院 (ITRI) と連携協定を締結 ・S I C-3（イノベーションラボ）オープン ・S I C 台湾ビジネスセンターオープン ・経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」を受託 ・企業紹介冊子「おもしろ企業の魅力拝見！」出版 ・地域発信冊子「葦尾根のブルーベリー」発行
2012 年度 (平成 24 年度)	・神奈川県「かながわ環境関連産業ネットワーク事業」等を受託 ・経済産業省「高度実践型支援人材育成事業」を受託 ・インキュベーションセンター「T-BISC」、「MBDA」の計画 ・運営サポートを受託・第 1 回南西フォーラムビジネスマッチング開催 ・SIC 台湾ビジネスサポート事業開始 ・第 1 回 SIC カイゼン研究会（現 SIC カイゼン・スクール）開講
2013 年度 (平成 25 年度)	・財団法人台湾建築中心（TABCC）及び財団法人金属工業研究発展中心（MIRDC）と連携協定を締結 ・神奈川県「かながわ成長産業イノベーション事業」を受託
2014 年度 (平成 26 年度)	・地域密着型就職支援事業「サガツク」を開始 ・全国中小企業団体中央会「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業」受託 ・神奈川県「ロボット実証実験支援事業」重点プロジェクト委員会事務局を担う
2015 年度 (平成 27 年度)	・相模原市から産業用ロボット導入支援事業を受託し、さがみはらロボット導入支援センターをオープン ・神奈川県「成長産業育成支援事業」を受託
2016 年度 (平成 28 年度)	・「みんなで一人前の社会人になる研修」を開始 ・綾瀬市商工会からビジネスマッチング事業を受託 ・相模原市と連携する大和市・座間市・寒川町から産業用ロボット導入支援事業を受託
2017 年度 (平成 29 年度)	・神奈川県「成長ベンチャー情報発信事業」受託 ・台湾工業技術研究院 (ITRI)、財団法人金属工業研究発展中心 (MIRDC) と連携協定を更新
2018 年度 (平成 30 年度)	・S I C-2 R&D Lab. 着工 ・World Robot Challenge 2018 に市内企業等で Team SAGAMIHARA を結成し参加
2019 年度 (令和元年度)	・S I C-2 R&D Lab. オープン ・相模女子大学との連携協定を締結 ・相模原市「ロボット制御・AI 等共同研究開発事業」受託 ・綾瀬市「中小企業コンサルティング事業」受託
2020 年度 (令和 2 年度)	・シェアする“オフィス&ラボ” EN-Garege (DESK®・Fab®) オープン

3-2

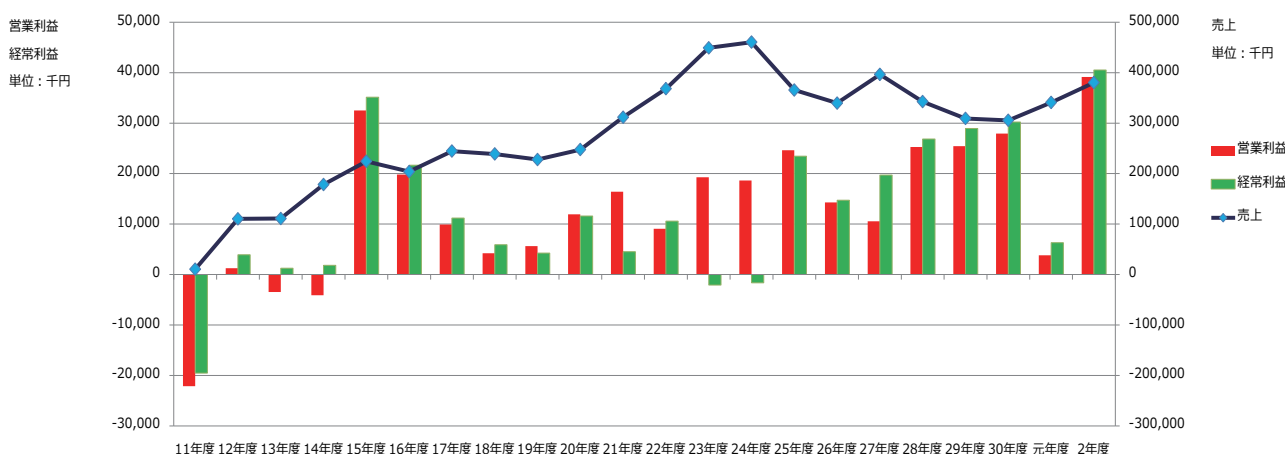
主な事業と開始年度（カテゴリー別）

年 度	ラボ・オフィス	経営サポート	技術開発	人材育成	資金調達・販路開拓
1999年度 (平成11年度)		・ビジネスプランコンテスト	・新規成長産業連携支援事業	・女性起業家育成セミナー	
2000年度 (平成12年度)	SIC-1 オープン	・株式公開塾 ・入居企業セミナー	・中小企業のための技術セミナー		
2001年度 (平成13年度)			・ミニコンソーシアム事業	・さがみはら子どもアントレプレナー体験事業（小学生）	
2002年度 (平成14年度)	SIC-2 オープン	・アントレフォスター事業 ・中小企業のデザイン開発支援	・経済産業省「即効型 地域新生コンソーシアム」受託	・SIC 経営塾 ・さがみはら子どもアントレプレナー体験事業（中高生）	・KSP ベンチャー マッチング商談会に参画
2003年度 (平成15年度)		・八千代起業家支援プログラム ・地域企業実態調査 (450 社)	・大学シーズ調査	・SIC 経営者セミナー	
2004年度 (平成16年度)		・さがみはら青年アントレプレナープロデュース事業 ・かわらばん（入居企業版） 創刊号発行	・新技術創造研究会	・SIC アントレ・インターン	
2005年度 (平成17年度)			・神奈川県「新産業創出拠点形成促進事業」受託 ・燃料電池研究会発足	・SIC 起業家塾	・SIC1 号投資事業 有限責任組合組成
2006年度 (平成18年度)		・チャレンジショップ	・「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」受託	・SIC 起業家育成大学校	・入居企業 4 社、地域企業 3 社 に出資
2007年度 (平成19年度)			・SPS 研究会	・SIC 職場リーダー養成塾	・入居企業 1 社、地域企業 2 社 に出資
2008年度 (平成20年度)		・中小企業のカイゼン活動支援 ・かわらばん（地域企業版） 創刊号発行	・実用化開発支援		・入居企業 1 社に出資 ・SIC テクノロジーマッチング ・KSP 協創マッチングフォーラム に参画
2009年度 (平成21年度)		・メンター制度 ・さがみはら企業力支援事業 ・地域企業実態調査（500 社）	・経済産業省「低炭素社会に向けた 技術発掘・社会システム実証モデル 事業」受託	・地域産業界の人づくり支援事業 ・さがみはら未来塾 ・ベンチャー・中小企業人材 確保支援事業	
2010年度 (平成22年度)	DESK [®] オープン	・ソーシャルビジネス創育支援事業	・高度研究人材活用事業 （さがみはら表面技術研究所） ・神奈川県バイオベンチャー人材活用 事業		・台湾ビジネスマッチング開催 ・川崎市産業振興財団 新事業マッチングフォーラム参画
2011年度 (平成23年度)	SIC-3 オープン	・企業紹介冊子「おもしろ企業の 魅力拝見！」出版 ・地域発信冊子「葦尾根のブルーベ リー」発行	・経済産業省「戦略的基盤技術高度 化支援事業」受託 ・新製品開発のための「協創プロジェ クト」 ・相模原市から「新技術実用化コン ソーシアム 形成支援事業」受託	・iSB 公共未来塾	・台湾工業技術研究院と協定 ・SIC 台湾ビジネスセンター オープン
2012年度 (平成24年度)	「T-BISC」、 「MBDA」 の計画・運 営サポート	・地域発信冊子「里山コミュニ ティ」発行 ・企業紹介冊子「い〜コトなび」 発行	・神奈川県「かながわ環境関連産業 ネットワーク事業」受託	・SIC カイゼン研究会 ・経済産業省「高度実践型 支援人材育成事業」 ・女性力発揮セミナー ・子どもワークショップ	・日本台湾アライアンスセミナー ・南西フォーラム ビジネスマッチング
2013年度 (平成25年度)			・可搬型燃料電池・飲料水供給装置 の開発	・SIC カイゼンスクール	・財団法人台湾建築中心、財団 法人金属工業研究開発中心と 連携協定を締結 ・日台環境・建築ビジネスマッ チングを開催
2014年度 (平成26年度)			・全国中小企業団体中央会「ものづくり 中小企業・規模事業者連携支援事業」 ・神奈川県「ロボット実証実験支援 事業」重点プロジェクト事業	・「サガツクナビ」ポータル サイト	
2015年度 (平成27年度)			・相模原市「産業用ロボット導入支 援事業」「コンソーシアム加速化 支援事業」受託 ・神奈川県「成長産業育成支援事業」 受託		
2016年度 (平成28年度)				・「みんなで一人前の社会人 になる研修」	・SIC1 号投資事業 有限責任組合解散
2017年度 (平成29年度)			・神奈川県「成長ベンチャー情報発 信事業」受託		・日台ものづくり企業ビジネス 交流ツアー
2018年度 (平成30年度)	SIC-2(仮) 増築棟起工式				
2019年度 (令和元年度)	SIC-2 R&D Lab. オープン		・相模原市「ロボット制御・AI 等 共同研究開発事業」受託		
2020年度 (令和2年度)	EN-Garege オープン				

3-3

財務状況

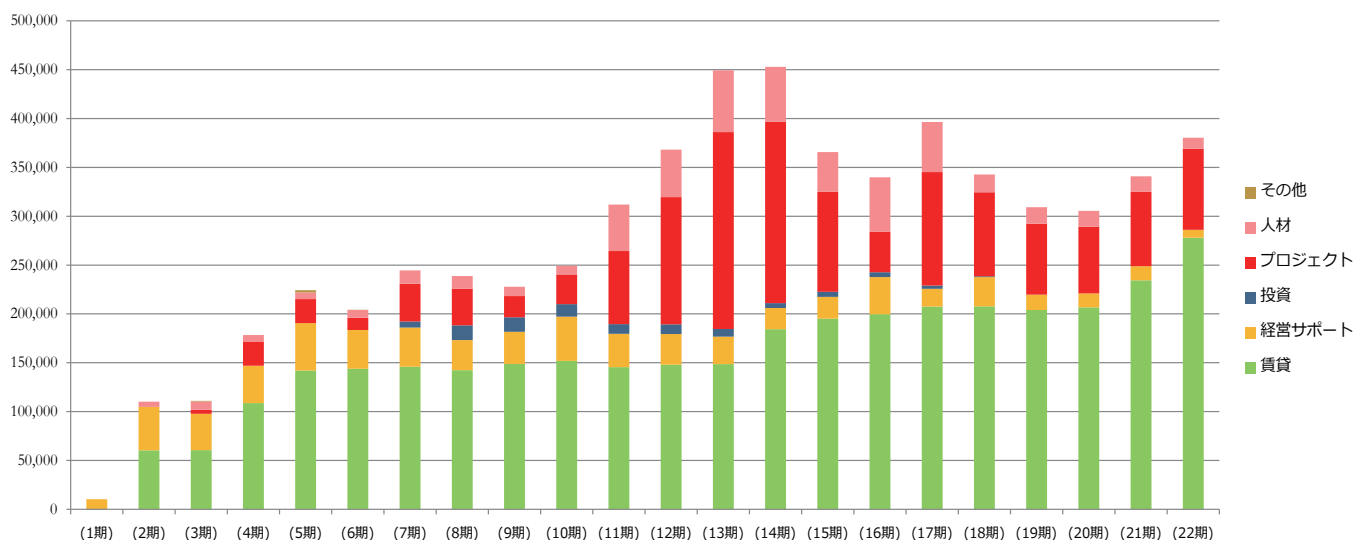
P／L 推移



	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)	29年度 (19期)	30年度 (20期)	元年度 (21期)	2年度 (22期)
売上	10,429	110,264	111,008	178,323	224,271	204,022	244,523	238,812	227,805	247,560	311,824	368,145	449,221	452,739	365,658	339,759	396,465	342,657	309,168	305,449	340,813	380,385
営業利益	-22,122	1,257	-3,455	-4,101	32,523	19,804	9,914	4,219	5,620	11,946	16,397	9,080	19,283	18,649	24,640	14,298	10,548	25,278	25,445	27,926	3,808	39,159
経常利益	-19,522	3,922	1,256	1,817	35,141	21,656	11,200	5,910	4,242	11,604	4,514	10,568	-2,082	-1,641	23,436	14,711	19,727	26,860	28,937	30,221	6,310	40,541

事業別売上高の推移

単位：千円



	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)	29年度 (19期)	30年度 (20期)	元年度 (21期)	2年度 (22期)
貸貨	0	60,473	60,622	108,655	142,026	143,982	145,990	142,525	148,914	151,930	145,552	147,969	148,705	184,290	195,181	199,726	207,547	207,790	204,049	206,749	234,421	277,910
経営サポート	10,429	44,344	37,125	38,379	48,475	39,669	40,038	30,769	32,709	45,225	34,042	31,402	28,039	21,837	22,348	38,000	18,204	30,010	15,758	14,132	14,482	8,217
投資	0	0	0	0	0	0	6,250	15,000	15,000	12,915	9,999	10,000	7,917	5,000	5,000	5,000	3,250	750	0	0	0	0
プロジェクト	0	0	4,130	24,713	24,744	12,530	38,545	37,595	21,655	30,258	74,868	130,200	201,456	185,723	102,340	41,195	116,116	85,967	72,519	68,249	75,931	83,045
人材	0	5,447	8,629	6,576	6,785	7,809	13,699	12,922	9,525	8,969	47,363	48,574	63,105	55,889	40,788	55,837	51,349	18,140	16,841	16,318	15,978	11,212
その他	0	0	502	0	2,240	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売上合計	10,429	110,264	111,008	178,323	224,271	204,022	244,523	238,812	227,805	247,560	311,824	368,145	449,222	452,739	365,658	339,759	396,466	342,657	309,168	305,449	340,813	380,385

3-4

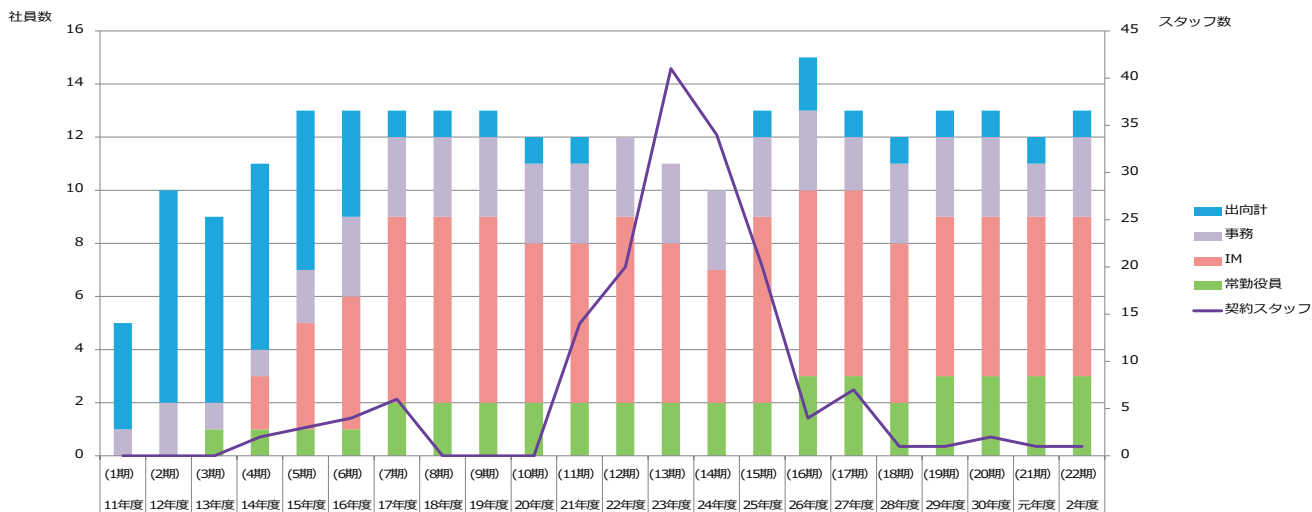
競争的資金の獲得

単位：千円

年 度	資金獲得先	事 業 名	資 金 額
平成 14 年度	経済産業省	即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業 「次世代デバイス用超高精度ナノレベル研磨・洗浄複合装置の開発」	40,000
平成 17 年度	神奈川県	新産業創出拠点形成促進事業 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」	20,000
平成 18 年度	神奈川県	新産業創出拠点形成促進事業 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」	22,000
平成 20 年度	中小機構	川上川下ネットワーク構築支援事業 「次世代エネルギーシステムの早期実用化ネットワーク構築」 新現役チャレンジ支援事業 「新現役人材による中小企業支援のモデル事業としてカイゼン支援プログラム開発」 ビジネス・インキュベータ（BI）における広域的ネットワーク構築の調査事業 「グループインキュベーション」手法の開発と検証 ―ネットワークによる支援と手法のネットワーク化―	25,600
	神奈川県	ベンチャー創出促進モデルプロジェクト事業 「動物病院医療市場を対象とした犬のアレルギー及び免疫検査受託事業」 「静電エンコーダの事業化」	
平成 21 年度	経済産業省	低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業 「太陽光雨水などの自然の恵みを有効活用した安全・安心な低炭素社会システムの構築」	64,000
平成 22 年度	経済産業省	中小企業海外販路開拓支援事業（台湾ビジネスマッチング） 「神奈川県ビジネス・インキュベータ連携による I T / エレクトロニクス分野 研究関連型ベンチャー企業の海外販路支援事業」	11,500
平成 23 年度	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業 「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」	7,000
	中小機構	BI ネットワーク構築事業 「T-BISC の整備に協調・連携した国内外ビジネスマッチング事業」	
	神奈川県	新産業ベンチャー事業化支援事業 「生物機能制御・改善のための体内時計調節剤及び関連試薬の開発」	
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」	
平成 24 年度	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」 高度実践型支援人材育成事業	101,700
	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわエネルギー関連ベンチャーマッチング・パートナーリング支援事業	
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」	
平成 25 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 新技術実用化コンソーシアム形成事業 「表面形状を制御した医療用機能部品の要素開発」	8,000
	相模原市		
平成 26 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業イノベーション事業	33,900
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成事業 「ハーブ等植物の家庭用高効率栽培システムの開発」	
平成 27 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業育成支援事業 新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「ハーブ等植物の家庭用高効率栽培システムの開発」	21,470
	相模原市	コンソーシアム加速化支援事業	
平成 28 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業育成支援事業 新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	17,770
	相模原市		
平成 29 年度	神奈川県	成長ベンチャー情報発信事業 「エネルギー及び I T 分野」	6,480
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	
平成 30 年度	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	2,777
令和元年度	相模原市	ロボット制御・AI 等共同研究開発事業	9,090
令和 2 年度	相模原市	ロボット制御・AI 等共同研究開発事業	13,636

3-5

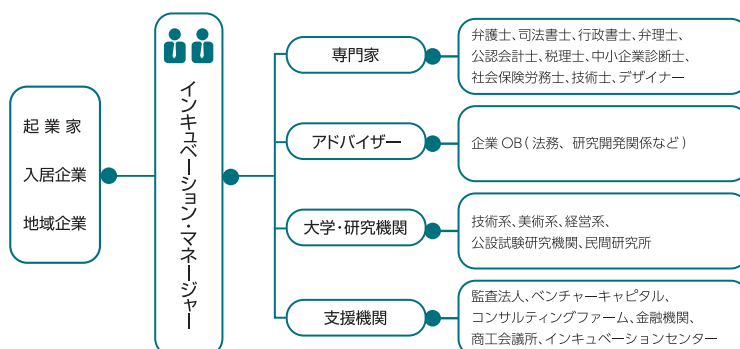
スタッフ数の変遷



	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)	29年度 (19期)	30年度 (20期)	元年度 (21期)	2年度 (22期)
常勤役員	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	3	3	3	3
非常勤役員	13	13	13	13	15	15	13	12	11	10	10	10	11	11	12	13	12	12	12	13	12	12
IM	0	0	0	2	4	5	7	7	7	6	6	7	6	5	7	7	7	6	6	6	6	6
事務	1	2	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	2	3
相模原市から出向	3	5	5	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中小機構からの出向	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
銀行からの出向	1	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	1	1	1	1	1
出向計	4	8	7	7	6	4	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	1	1	1	1	1
計	5	10	8	10	12	12	11	11	11	10	10	10	9	8	11	12	10	10	10	10	9	10
契約スタッフ	0	0	0	2	3	4	6	0	0	0	14	20	41	34	20	4	7	1	1	2	1	1
パートタイマー	0	1	1	4	2	2	4	3	1	1	1	1	3	3	3	4	3	3	5	2	2	2

3-6

支援ネットワーク



3-7

視察・研修

令和2年度 国内

名 称
視 察
JBIAリモート見学会、相模原市（本村市長）、仙台市、帯広市、南魚沼市、川崎市

海外

年 度	名 称	
平成 17 年度	チュニジアベンチャーキャピタル協会 海外技術者研修	チュニジア アジア、アフリカ諸国
平成 19 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（JICA） モンゴル中小企業振興研修	アジア、アフリカ、中東、中南米諸国 モンゴル
平成 20 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（JICA）	アジア、オセアニア、アフリカ諸国
平成 21 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（JICA） 韓国インキュベーションスタッフ研修	アジア、オセアニア、アフリカ諸国 韓国
平成 22 年度	オマーン技術大学指導員研修、無錫市政府 マレーシア国職業訓練校指導員研修	オマーン、中国 マレーシア
平成 23 年度	工業技術研究院、中国山東省（対日投資）視察団	台湾、中国
平成 24 年度	中小企業支援法制度検討視察（JICA） 国際企業人材育成センター日本語プログラム研修（台湾貿易センター）	ベトナム 台湾
平成 25 年度	アフリカ地域女性起業家支援セミナー（JICA） 台湾工業技術研究院 産業経済與趨勢研究中心	アフリカ諸国 台湾
平成 26 年度	シンガポール国立大学	シンガポール
平成 27 年度	法政大学（欧州産学連携研究者視察団）、トロント市議会 中国 無錫市、韓国技術ベンチャー財団 行政院世界企業誘致総合サービスセンター、工業技術研究院 台北市コンピュータ協会 アメリカ オースティンアジア商工会、タイ対日技術振興協会	欧州、カナダ 中国、韓国 台湾 台湾 アメリカ、タイ
平成 28 年度	スリランカソフトウェアサービス協会	スリランカ
平成 29 年度	台湾手工工具工業同業公会 韓国生産性本部、韓国技術ベンチャー財団・企業、韓国創業振興院 ドイツロボット関連企業視察団、JETROトロント 中国ロボット関連企業視察団	台湾 韓国 ドイツ、カナダ 中国
平成 30 年度	ベトナム政府及び中小企業支援機関、オンタリオ州東京事務所、 タイ王国科学技術庁、泰日工業大学、韓国技術ベンチャー財団、 JETROトロント、中国・遼寧省経済視察団	中国、 タイ、韓国 アメリカ、中国
令和元年度	泰日工業大学	タイ

3-8

新聞掲載（令和2年度）

年月日	新聞名	表 題
2020.08.06	日刊工業新聞	レンタルオフィス拡充
2020.10.07	日刊工業新聞	Sler 講座参加者募集
2021.01.01	広報さがみはら	市は事業者のチャレンジを応援します

3-9

広報紙 「かわらばん」の発行

▶ SICかわらばん（入居企業版） 内容：入居企業紹介、セミナー等情報提供等

入居企業様と入居企業様として当センターとのコミュニケーションの促進を図る為に、新しく入居された企業様のご紹介や入居企業交流会、当センターの開催事業、施設関係の細やかなご案内など、当センターでより快適にご入居頂ける事を目的に毎月発行しています。

発行 No.	発行日	紹介企業名（入居企業）他
No. 191	令和 2年 4月 1日	株式会社クフウシヤ
No. 192	令和 2年 5月 1日	新型コロナウイルスを乗り越える！！
No. 193	令和 2年 6月 1日	株式会社CYNK
No. 194	令和 2年 7月 1日	日本サポートシステム株式会社
No. 195	令和 2年 8月 3日	さくらみらいマネジメントサービス株式会社
No. 196	令和 2年 9月 1日	株式会社トランセンド
No. 197	令和 2年 10月 1日	ABB株式会社
No. 198	令和 2年 11月 2日	株式会社DONKEY
No. 199	令和 2年 12月 1日	エピトマップ株式会社
No. 200	令和 3年 1月 4日	新春のご挨拶
No. 201	令和 3年 2月 1日	相模原ビジネス教室
No. 202	令和 3年 3月 1日	ティスコ株式会社



▶ SICかわらばん（地域企業版） 内容：地域企業紹介、入居企業紹介、特集記事、セミナー等情報提供、地元紹介等

地域企業様と当センター、地域企業様と入居企業様、地域企業様と地域企業様を繋ぐコミュニケーションツールとして、入居企業様や地域企業様に親しまれ、企業の皆さまにより良い情報をお届けすることを目的に隔月発行しています。

発行 No.	発行日	紹介企業名（地域企業）	紹介企業名（入居企業）	企画ページ
No. 67	令和 2年 7月 15日	有限会社河野製作所	株式会社グリーンノート	企業をサポートし隊 - 広報編 - "伝える努力をしてみよう"
No. 68	令和 2年 9月 15日	株式会社セラム・グループ	Ronk ジャパン株式会社	さがみはらロボット導入支援 センターの歩みとこれから
No. 69	令和 2年 11月 16日	株式会社セルタン	株式会社ミュテック	最近よく聞く「創業支援」とは？第1回 "創業支援の必要性とその背景"
No. 70	令和 3年 1月 15日	株式会社ミヨシ・ロジスティクス	株式会社クフウシヤ	新年挨拶
No. 71	令和 3年 3月 15日	株式会社アオイ	株式会社CYNK	最近よく聞く「創業支援」とは？第2回 "期待される創業者と多様な創業支援"



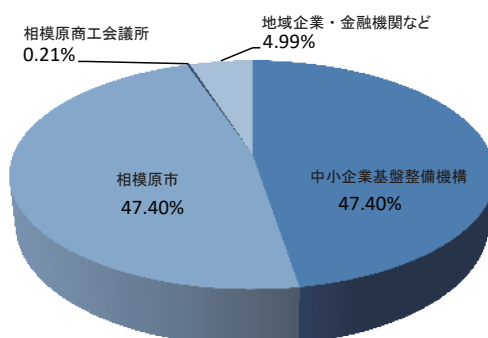
3-10

株主と役員

株主数：31 社（者） 発行済株式の総数：47,890 株 資本金：23 億 9,450 万円

相模原市	独立行政法人中小企業基盤整備機構
株式会社きらぼし銀行	株式会社ボイス
株式会社ハリマビステム	古木建設株式会社
株式会社横浜銀行	西武信用金庫
湘南デザイン株式会社	株式会社三菱UFJ銀行
相模原商工会議所	日本テクノ株式会社
城山工業株式会社	三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社
日本電子工業株式会社	相模原市農業協同組合
権田金属工業株式会社	株式会社相模運輸
相模ガス株式会社	株式会社昭和真空
篠崎電業株式会社	タイヨー印刷株式会社
東邦電子株式会社	東京海上日動火災保険株式会社
野村 隆	ブックオフコーポレーション株式会社
アイシンク株式会社	株式会社キャロットシステムズ
Apex 株式会社	

構成割合



代表取締役 取締役

橋元 雅敏	
安藤 重夫	
稲垣 英孝	
山崎 利宏	(城山工業株式会社 代表取締役)
西澤 勇司	(株式会社キャロットシステムズ 代表取締役)
杉本 祥一	(株式会社ハイスポット 代表取締役)
早川 正彦	(有限会社早川銘板製作所 代表取締役)
佐々木 亮一	(株式会社ライト 代表取締役)
若林 和彦	(相模原市 環境経済局 経済部長)
布施 昭愛	(相模原商工会議所 中小企業振興部長)

監査役

石川 敏美	
平田 光子	(日本大学 生産工学部 マネジメント工学科 教授)
安田 弘幸	(安田弘幸公認会計士事務所 所長)
池田 亨	(株式会社横浜銀行 相模原エリア統括兼相模原駅前支店長)
佐々木 一彦	(株式会社きらぼし銀行 本店営業部 公共・政策法人部長)

SIC-1 Startup Lab. / SIC-2 Creation Lab. / R&D Lab.

さがみはら
産業創造センター



交通アクセス

- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）
相模原インターから約5km
- 新横浜駅まで約27分 ■横浜駅まで約40分
- 新宿駅まで約40分 ■東京駅まで約60分
- 橋本駅南口から徒歩10分（約1km）
- ★お車でお越しの場合
SIC-1へは「西橋本3丁目」交差点方向より、SIC-2へは「橋本高校前」交差点よりお越し下さい。（反対方向からは進入できません）

SIC-3 Innovation Lab.



SIC i-Lab.

- 交通アクセス
- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）相模原愛川インターから3km
 - JR相模線「上溝駅」から徒歩10分

株式会社さがみはら産業創造センター
Sagamihara Incubation Center Ltd. (SIC)

SIC-1 Startup Lab. / SIC-2 Creation Lab. / R&D Lab.

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21

SIC-3 Innovation Lab.

〒252-0243 神奈川県相模原市中央区上溝1880番-2

Tel:042-770-9119(代) Fax:042-770-9077

URL <https://www.sic-sagamihara.jp>